

造スヘシ

八 工場ノ下水溝ハ堅質ノ材料ヲ以テ底面及周圍ヲ築造スヘシ

第六條 本則第一條第二條第四條第五條ニ違背シ又ハ第三條ノ命令ニ從ハサルモノハ

一日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

(廿九) 販賣氷取締規則第七類衛生ノ條下ニ就テ看ルベシ

(三十) 打揚及仕掛煙火願出方

○甲第百三十三號明治十四年八月廿一日

打揚ケ煙火又ハ仕掛ケ煙火ヲ催候節ハ左ノ各項ヲ記載シ所轄警察署又ハ分署ニ願出テ

許可ヲ受クヘシ此旨布達候事

一 煙火番數

但打揚煙火ハ筒口ノ寸尺等ヲ記載スヘシ

一 打揚又ハ仕掛ケノ場所

但人家ヲ距ル何丁且危險又ハ他ニ妨害ナキ等ヲ証記スヘシ

一 施行ノ日時

(卅一) 煙火製造及製造販賣願出方

○縣令第四十九號明治廿一年十一月十七日

明治二十年九月縣令第七十一號左ノ通改正ス

煙火製造所及製造販賣願出

一 煙火製造所ヲ設置セントスルモノハ所轄警察署ヘ願出ヘシ

一 煙火ヲ販賣シ若クハ一時(娛樂ノ爲メ)製造セントスル者ハ所轄警察署又ハ分署ヘ願出ヘシ

(卅二) 屠獸場取締規則

○縣令第二十二號明治二十一年三月二十九日

屠獸場取締規則左之通相定メ明治十二年甲第七十二號布達屠牛營業并屠牛場取締規則

ヲ廢止ス

屠獸場取締規則

第一條 此規則ニ稱スル屠獸場トハ諸人ノ需メニ應シ食料ニ供スル牛馬羊豕ヲ屠殺スル所ヲ云フ

第二條 屠獸場ヲ設置セントスルモノハ左ノ各項ヲ具シ縣廳ヘ願出免許ヲ受クヘシ

一 設置地ノ郡町村名地字地番

二 設置地及其近隣ノ模様

三 場所構造ノ模様

四 第二項第三項ヲ詳明スル繪圖

第三條 縣廳ニ於テ前各項ヲ調査シ衛生上ノ障害アリト認ムルトキハ之ヲ免許セス又

既ニ免許シタルモノト雖モ更ニ衛生上ノ障害アルコトヲ發見スルトキハ其免許ヲ取

消スコトアルヘシ

第四條 第二條ニ依リ屠獸場設置ノ免許ヲ得タルモノ工事落成シタルトキハ所轄警察

署又ハ分署ニ届出検査ヲ受クヘシ
検査ヲ受ケタル上ニ非サレハ屠獸ヲナスコトヲ得ス

第五條 屠獸場ノ模様ヲ變更セントスルトキハ縣廳ニ届出認可ヲ受クヘシ變更後警察署又ハ分署ニ届出テ検査ヲ受ルハ前條第一項ニ全シ

第六條 屠獸場ヲ廢止シ又ハ賣渡讓渡ヲ爲シタルトキハ其都度縣廳ニ届出ヘシ但賣渡讓渡ノ届書ニハ双方ノ連署ヲ要ス

第七條 屠獸場所有入轉居又ハ改氏名ヲ爲シタルトキハ其都度縣廳ニ届出ヘシ

第八條 屠獸場ハ左ノ標準ニ從ヒ設置スヘシ

- 一 屠獸場ハ國道假定縣道及人民幅濶ノ地ニ接近スヘカラス
- 一 屠獸場ハ人家及飲用水路ヲ距ル六十間以上タルヘシ
- 一 屠獸場ノ周圍ニハ土手又ハ塙塹ノ類ヲ設クヘシ

但山林原野等ニシテ人家及人民幅濶ノ地ヲ遠隔スルモノハ此限ニアラスト雖モ適宜ノ區畫ヲ立テ置クヘシ

第九條 屠獸ノ臍皮骨及ヒ汚穢物ノ類ハ其都度之ヲ取除キ常ニ場内ヲ清潔ナラシムヘシ

第十條 屠獸ヲナサントスルトキハ其都度所轄警察署又ハ分署ニ届出検査官吏ノ出張ヲ請フヘシ

第十一條 出張検査官吏 於テ病獸ト認ムルトキハ其屠殺ヲ禁シ肉質不良ト認ムルト

キハ其食料ニ供スルヲ禁スルコトアルヘシ但屠殺及ヒ食料ニ供スルヲ禁シタルモノ、處置ハ出張検査官吏ノ指揮ニ從フヘシ

第十二條 屠殺手數料ハ屠獸ノ種別ニ從ヒ其額ヲ定メ豫テ所轄警察署又ハ分署ノ認可ヲ受クヘシ其増減ヲ要スルトキモ亦同シ

第十三條 屠獸場ニハ免許屠獸場ト大書シタル看板ヲ掲クヘシ

第十四條 此規則ニ依リ縣廳ニ差出ス書面ハ總テ所轄警察署又ハ分署ヲ經由スヘシ

第十五條 免許ヲ受ケスシテ屠獸場ヲ開設シ及此規則第四條第二項第五條第六條第七條第十一條但書第十二條又ハ第九條第十三條ニ違背シ督促ヲ受ケテ猶從ハサルモノハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

附 則

明治十二年甲第七十二號布達屠牛營業并ニ屠牛場取締規則ニ依リ許可ヲ得タル屠牛場ハ本年四月三十日迄ハ本則ニ依リ免許ヲ得タル屠獸場ト同効ヲ有スルモノトス此期限ヲ過キ猶該場ニ於テ屠獸ヲナサントスルモノハ本則第二條ニ準シ更ニ願出免許ヲ受クヘシ

(四三) 食用ニ供スル獸類ヲ屠獸場外ニ於テ屠殺スルヲ禁ス

○縣令第二十三號 明治廿一年三月廿九日
食用ニ供スル牛馬羊豕ハ自用ト販賣トニ拘ハラズ縣廳ノ免許ヲ受ケタル屠獸場外ニ於テ屠殺スルヲ得ス違フモノハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五錢以上壹圓九拾五

錢以下ノ料料ニ處ス

〔廿四〕 街路取締規則

○縣令第八拾九號 明治二十年十二月廿一日

街路取締規則別冊之通相定メ明治廿一年二月一日ヨリ甲府ニ施行ス

但本則第七條各項及第八條八項ニ觸ル、モノハ從前許可ヲ得タルモノト雖モ更ニ允許ヲ受クヘシ

街路取締規則

第一章 通 則

第一條 街路ト稱スルハ道敷及ヒ道敷ニ沿フタル下水并橋梁トス

第二條 本則ハ市街ノ街路ニ適用ス

第三條 街路ノ掃除撒水及溝渠下水ノ浚渫ハ左ノ區別ニ從ヒ負擔スヘシ

但負擔人ニ於テ特ニ受負人ヲ定メタルトキハ其旨ヲ所轄警察署ニ届出ヘシ

第二項 掃除撒水ハ街路ノ中央ヲ割り兩側居住者官署公廟社寺ノ負擔トス片側居住者官署公廟社寺ノ負擔トス

ノ街路ハ其居住者ニ於テ路ノ全部ヲ負擔スヘシ

第二項 明家明地ノ地先ハ前項ノ區別ニ從ヒ各地主又ハ管理者ノ負擔トス

第三項 溝渠下水ノ浚渫ハ街路ノ中央ヲ割り兩側地主又ハ管理者ノ負擔トス

第四項 橋梁ノ掃除ハ該町村ノ負擔トス

第四條 本則ニ於テ人民ノ負擔スヘキ義務ヲ怠ルトキハ官ニ於テ執行スルコトアルヘシ

此場合ニアツテハ其費用ヲ徵收ス

第二章 街路ノ安寧及保存

第五條 街路ニ建物軒檐旗掛招牌物干等ヲ設ケ又ハ出スヘカラス

第六條 左ノ諸件ニ係ルモノハ允許ヲ受ケス街路ニ出スコトヲ得

但官ニ於テ通行ノ妨害アリト認ムルトキハ取除カシムルコトアルヘシ

一 釣看板ハ地盤ヲ距ル八尺以上ニ限リ二尺以内

二 日除(綿布又ハ簾ノ類ヲ用ユルモノ)ハ支柱ヲ用ヒス地盤ヲ距ル七尺以上ニ限リ三尺以内

三 掲燈ハ地盤ヲ距ル七尺以上ニ限リ一尺以内

四 軒檐ハ地盤ヲ距ル九尺以上ハ二尺六尺以上ハ一尺以内

第七條 左ノ事項ハ其場ノ圖面(道幅及出類物件ノ面積)ヲ添ヘ所轄警察署ヘ願出允許ヲ受クヘシ

一

一 街路ニ床店葺張ヲ設クルコト

二 街路ニ樹木ヲ植エ又ハ井戸其他下水等ヲ穿堀若シハ修理スルコト

三 街路ニ柵欄支柱ヲ設ケ又ハ齒止石ヲ置クコト

四 街路ニ華表碑表及指道標街燈其他公衆ノ用ニ供スル標識ヲ建設スルコト

五 公共ノ爲メ街路ニ火ノ見消防具置場及便所ヲ設置スルコト

六 工事ノ爲メ一時街路ニ竹木土石類ヲ置キ或ハ板圍繩張足代ヲ設ケ其他街路ヲ使

用スルコト

- 七 街路ヲ經テ建物ヲ移シ又ハ街路ヲ壅塞スヘキ長大ノ物件ヲ運搬スルコト
- 八 一時街路ニ市場舞臺(神佛祭典等ノ節)店飾及建札ヲ設ケルコト
- 九 街路ニ神輿山車又ハ手踊屋臺ヲ出スコト
- 十 神佛送迎ノ爲メ街路ニ飾物ヲ出シ又ハ奉納物ヲ牛車ニテ運搬スルコト
- 十一 工事ノ爲メ一時通行ヲ停止スルコト
- 十二 車馬通行停止ノ榜示アル場所ニ車馬ヲ出入スルコト
- 十三 場所ヲ定メ露店又ハ屋臺店ヲ出スコト
- 十四 街路ニ沿フタル私有地ニシテ九尺以内ニ便所又ハ塵溜場ヲ設ケルコト
- 第八條 街路ヲ使用シ之ヲ毀損シタル者ハ直ニ原形ニ復スヘシ
- 第九條 宅地ト街路トノ境界ニハ石煉化大板等ヲ以テ溝渠ヲ設ケ且之レニ雨水ヲ流シ込ムヘキ構造ノ覆蓋ヲ爲スヘシ
- 但地形ニ依リ溝渠又ハ覆蓋ヲ要セサルモノハ此限リニ非ズ
- 第十條 街路ニ出シタル軒楹ニハ軒樋及ヒ堅樋ヲ設ケヘシ其堅樋ハ街路ノ地盤ニ設ケルコトヲ得ス
- 但磴滴ノ溝渠ニ落ルモノ及堅樋ノ溝渠ニ滌クモノハ本條ノ限ニアラス
- 第十一條 街路ニ沿フタル宅地ニシテ奥行九尺以上ノ空地アル場所ハ道敷ノ境界ニ塙垣ヲ設ケヘシ

但市街ノ体裁ヲ損セサルモノハ此限ニアラス

- 第十二條 街路ニ沿フタル場所ニ竹木ヲ立置クトキハ鐵釘其他強靱ナル繩索ヲ以テ之ヲ纏束シ又薪炭其他ノ物件ヲ堆積スルモノハ頓仆セサル様堅牢ノ裝置ヲ爲スヘシ
- 第十三條 街路ニ沿フタル建設物及樹木等崩壞頓仆ノ虞アルモノハ速ニ修理撤却若シハ扶植伐採スヘシ
- 第十四條 街路ニ竹木土石類ヲ置キタルトキ又ハ溝渠凹所等ニハ蓋圍若シハ標識ヲ設ケ其危險ヲ防クヘシ
- 第十五條 運搬中建物若シハ長大ノ物件ヲ夜中街路ニ停メ置クトキハ路傍ニ片寄せ標燈ヲ掲クヘシ
- 第十六條 街路ノ井戸ニシテ通行ノ妨害トナルヘキモノハ地并ニ堅牢ナル蓋ヲ以テ之ヲ覆フヘシ
- 第十七條 道路橋梁溝渠下水ヲ毀損壅塞シ街路ノ樹木ヲ伐採シ又ハ街燈ヲ破毀消滅スヘカラス
- 第十八條 制札指道標便所及墻壁等ヲ毀棄汚損シ又ハ之レニ樂書貼紙ヲ爲スヘカラス
- 第十九條 街路ニ商品薪炭荷車其他ノ物件ヲ排列シ又ハ出シ置クヘカラス
- 第二十條 街路ニ於テ荷造木挽其他ノ作業ヲ爲スヘカラス
- 第二十一條 街路ニ於テ火器ヲ弄シ若シハ焚火ヲ爲シ又ハナサシムヘカラス
- 第二十二條 街路ニ家畜ヲ放置シ通行ノ妨害ヲ爲スヘカラス

第二拾二條 街路ニ於テ犬其他ノ獸類ヲ嘯シ又ハ驚逸セシメ若クハ殘虐ニ扱フヘカラス

第二拾四條 街路ニ於テ濫リニ放歌シ若クハ高聲ヲ發スヘカラス

第二拾五條 街路ニ於テ喧噪シ又ハ偃臥スヘカラス

第二拾六條 發狂人ノ看守ヲ怠リ路上ニ徘徊セシムヘカラス

第二拾七條 街路ニ於テ看護人ナク五年未滿ノ小兒ヲ遊歩セシメ又ハ遊戲ヲ爲サシムヘカラス

第二拾八條 街路ニ於テ紙鳶ヲ揚ケ又ハ獨樂羽子手毬等ヲ弄シ若クハ其他ノ遊戲ヲ爲スヘカラス

第二拾九條 街路ニ於テ軍談輕業其他人寄セテ爲スヘカラス

第三拾條 行商ニ用フル荷車ハ長サ八尺巾三尺屋臺店ハ長サ六尺巾三尺ヲ超過スヘカラス

第三章 街路ノ清潔

第三十一條 街路ハ常ニ清潔ニ掃除ヲ爲シ塵芥雜草ヲ存スヘカラス

第三拾二條 街路ノ積雪ハ午前八時迄ニ掃除スヘシ

但午前八時後日沒迄ハ降歇後掃除スヘシ

第三拾三條 掃除シタル雪ハ河川其他妨害ト爲ラサル場所ニ投棄スヘシ

第三拾四條 炎天及風日ニハ時々街路ニ淨水ヲ撒クヘシ但冬季ハ風日ト雖モ午前九時

前午後三時後ハ水ヲ洒クヘカラス

第三拾五條 下水ハ毎年二回(四月)ニ浚滌シ若シ塵芥等疏通ヲ壅塞スルトキハ臨時浚滌スヘシ

第三拾六條 街路ニ於テ便所ニアラサル場所ニ大小便ヲ爲シ又ハ爲サシムヘカラス

第三拾七條 溝渠等ノ汚水又ハ魚鳥其他不潔物ヲ洗滌シタル水ヲ路上ニ洒注スヘカラス

第三拾八條 瓦礫塵芥禽獸ノ死屍又ハ汚穢物ヲ街路溝渠等ニ投棄スヘカラス

第三拾九條 下水浚ヘ揚ケノ淤泥塵芥等ヲ路上ニ布キ又ハ路傍ニ留置シヘカラス

第四拾條 街路ニ於テ敷物疊類其他ノ塵芥ヲ掃フヘカラス

第四拾一條 街路ニ運搬スル物品ハ墜落漏出又ハ飛散セシムヘカラス

第四拾二條 街路ニ臨ミタル屋根物干又ハ窓手摺等ニ盪縷其他見苦敷若クハ危險ナル物品ヲ置クヘカラス

第四章 道路通行

第四拾三條 牛馬及ヒ諸車ハ夜中燈火ナクシテ牽クヘカラス

第四拾四條 馬車及牛車ハ幅員二間以内ノ街路ヲ通行スヘカラス但其街路ニ沿フタル

家屋ニ出入スルモノハ此限リニアラス

第四拾五條 車ハ小兒車ヲ除ク外其種類ノ如何ヲ問ハス跡押ノミニテ運轉スヘカラス

第四拾六條 末口ノ尖リタル竹木等ヲ運搬スルトキハ其末口ヲ纏束スヘシ

道路取締規則

- 第一條 道路ト稱スルハ道敷及道敷ニ沿フタル下水井ニ橋梁トス
- 第二條 本則施行ノ箇所ハ告示ヲ以テ別ニ之ヲ定ム
- 第三條 道路ノ掃除撒水溝渠下水ノ浚渫ハ左ノ區別ニ從ヒ負擔スヘシ
 - 但負擔人ニ於テ特ニ受負人ヲ定メタルトキハ所轄警察署又ハ分署ニ届出ヘシ
- 第一項 掃除撒水浚渫ハ道路ノ中央ヲ劃リ兩側居住者(官署公廟社寺等ハ其管理者)ノ負擔トス
- 第二項 片側居住ノ道路ハ其居住者ニ於テ全部ヲ負擔スヘシ
- 第二項 明家明地ノ地先ハ前項ノ區別ニ從ヒ各地主又ハ管理者ノ負擔トス
- 第三項 橋梁及兩側ニ人家ナキ道路ノ掃除浚渫等ハ該村ノ負担トス
- 第四條 本則ニ於テ人民ノ負擔スヘキ義務ヲ怠ルトキハ官ニ於テ執行スルコトアルヘシ
 - 此場合ニアツテハ其費用ヲ徵收ス
- 第五條 道路ニ建物軒檐旌柱招牌物干等ヲ設ケ又ハ出スヘカラス
- 第六條 左ノ諸件ニ係ルモノハ免許ヲ受ケス道路ニ出スコトヲ得
 - 但官ニ於テ通行ノ妨害アリト認ムルトキハ取除カシムルコトアルヘシ
 - 一 釣看板ハ地盤ヲ距ル八尺以上ニ限リ二尺以内
 - 二 日除(綿布又ハ籐ノ類ヲ用ヒルモノ)支柱ヲ用サス地盤ヲ距ル七尺以上ニ限リ三尺以内
 - 三 支柱ヲ用サス(籐ノ類ヲ用ヒ)道路ノ全幅ヲ覆フ日除ハ地盤ヲ距ル一丈二尺以上
 - 四 掲燈ハ地盤ヲ距ル七尺以上ニ限リ一尺以内

- 五 軒檐ハ地盤ヲ距ル九尺以上ハ二尺六尺以上ハ一尺以内
- 第七條 左ノ事項ハ所轄警察署又ハ分署ニ願出允許ヲ受クヘシ
 - 一 道路ニ樹木ヲ植エ又ハ井戸其他下水等ヲ穿堀若クハ修理スル事
 - 二 道路ニ華表碑表及指道標街燈其他公衆ノ用ニ供スル標識等ヲ建設スル事
 - 三 道路ニ柵欄支柱ヲ設ケ又ハ截止石ヲ置ク事
 - 四 公共ノ爲メ道路ニ火ノ見消防具置場ヲ設置スル事
 - 五 工事ノ爲メ一時道路ニ竹木土石類ヲ置キ又ハ板圍繩張足代ヲ設ケ其他道路ヲ使用スル事
 - 六 道路ヲ壅塞スヘキ建物ヲ移シ又ハ長大ノ物件ヲ運搬スル事
 - 七 一時道路ニ市場舞臺(神佛祭典等ノ節)床店設張建札等ヲ設クル事
 - 八 道路ニ神輿山車又ハ手踊屋臺ヲ出ス事
 - 九 神佛送迎ノ爲メ道路ニ飾物ヲ出シ又ハ奉納物ヲ牛車ニ運搬スル事
 - 十 工事ノ爲メ一時通行ヲ停止スル事
 - 十一 車馬通行停止ノ標示アル場所ニ車馬ヲ出入スル事
 - 十二 道路ニ沿フタル私有地ニシテ九尺以内ニ便所又ハ肥料置場ヲ設クル事
- 第八條 道路ノ撒水ハ炎天風日ニ數回之ヲ爲スヘシ尤モ冬季間ハ風日ト雖モ午前九時前午后三時後ハ之ヲ爲スヘカラス

第九條 道路ノ積雪ハ降歇後直ニ掃除スヘシ但掃除シタルトキハ通行ノ妨害トナラザル場所ニ投棄スヘシ

第十條 道路ヲ使用シ之ヲ毀損シタルモノハ直ニ元形ニ復スヘシ

第十一條 道路ニ沿フタル場所ニ竹木ヲ建置クトキハ縛鎖其他強靱ナル繩索ヲ以テ之ヲ纏束シ又ハ薪炭其他ノ物品ヲ堆積スル者ハ頓仆セサル様堅牢ノ裝置ヲ爲スヘシ

第十二條 道路ニ沿フタル建設物及樹木等崩壞顛仆ノ虞アルモノハ速ニ修理撤却若シハ扶植伐採スヘシ

第十三條 運搬中ノ建物若シハ長大ノ物件ヲ夜中道路ニ停メ置クトキハ路傍ニ片寄せ標識ヲ立テ置クヘシ

第十四條 家屋前ニ沿フタル道路ハ毎日其他ノ道路ハ二月毎ニ一回掃除ヲ爲スヘシ

第十五條 道路ニ沿フタル下水ハ毎年一回浚深シ若シ塵芥等疏通ヲ壅塞スルトキハ臨時浚深スヘシ

第十六條 本則第五條第七條第十條第十一條第十二條第十三條第十四條第十五條ノ督促ヲ受ケテ從ハサルモノハ刑法ニ正條アルモノヲ除キ一日以上三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五錢以上壹圓廿五錢以下ノ科料ニ處ス

第七 道路取締規則適用ノ箇所

告示第九十五號 明治廿二年 八月十日
本年縣令第五十六號道路取締規則ハ左ノ箇所ニ適用ス

- 一 甲州街道 自西山梨郡里垣村 至北郡留郡上野原村國境
- 二 青梅街道中 自西山梨郡里垣村 至東山梨郡日下部村
- 三 駿州東往還 自南郡留郡福地村 至同郡中野村國境
- 四 駿州往還 自中巨摩郡國母村 至南巨摩郡富川村國境
- 五 市川往還 自中巨摩郡常永村 至西八代郡市川大門村
- 六 信州往還中 自中巨摩郡河原部村 至北巨摩郡鳳來村國境
- 七 駿信往還 自南巨摩郡增穂村 至北巨摩郡鳳來村國境
- 八 谷村往還 自北郡留郡廣里村 至南郡留郡谷村
- 九 沼津往還 自南郡留郡谷村 至同郡瑞穂村

第八 荷車地車ノ臺木ニ地摺木ヲ附帶スルヲ禁ス

○甲第百八十八號 明治十三年 十二月廿七日
近來諸街道坂路ニ於テ材木薪柴等運搬スル荷車地車ノ臺木ニ地摺木ヲ結附ケ路上ヲ推挽スルモノ間々有之右ニ甚シク道路ヲ損壞シ不都合ニ付爾今地摺木ヲ附シ推挽候義一切不相成候條此旨布達候事

第九 富士川漁獵取締

○縣令第十八號 明治廿一年 三月廿三日
富士川漁獵取締左之通相定ム

富士川漁獵取締

第一條 富士川ニ於テ漁獵ノ爲メ梁ヲ構設スルヲ許サス

第二條 富士川ニ於テ罾ヲ設ケ漁獵セントスルモノハ其口徑及設置場所ヲ記載シ所轄

警察署又ハ分署ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

第三條 前條罾設置ノ時間ハ黄昏ヨリ黎明迄トシ該漁具構設ノ爲メ水中ニ杭柵ヲ樹テ

其他流形ヲ變更スルノ所爲アルヘカラス

第四條 前各條ニ違背シタルモノハ一日以上十日以下ノ拘留又ハ五錢以上壹圓九拾五

錢以下ノ科料ニ處ス

第五條 本令ハ本年四月一日ヨリ施行ス

(四十) 富士川物貨運搬營業取締規則

第三類運漕ノ條ニ就テ見ルヘシ

(四一) 荒川上流ニ於テ材木等流下スルヲ禁ス

第七類衛生ノ項ニ就テ看ルヘシ

(四二) 用水井戸取設ノ節願出方

第一區々々長

○丙第貳拾九號 明治十一年三月廿五日

自今市中用水取設ノ節ハ甲府警察署ニ願出候様區内ニ可相達此旨相達候事

(四三) 民有山林火入取締規則

第四類土地ノ條ニ就テ見ルヘシ

(四四) 火災消防規則

○乙第廿九號 明治十一年三月四日

第一區第二區(第四區ヲ除ク)

區 長 戶 長

消防規則別紙ノ通相定甲府消防區域ニ於テ施行候條外各地ノ義モ右規則ニ參照シ警察署ニ協議シ上漸次消防ノ方法相立候様可致此旨相達候事

但方法相設候節ハ伺出ノ上施行可致候事

消防規則

人民ノ災害火難ヨリ甚シキハナシ若シ消防ヲ忽ニスル時ハ許多人家屋ヲ延焼シ加之人畜ヲ殺傷シ貨實ヲ蕩盡ス豈懼レサルヘケンヤ今消防規則ヲ制定シ之ヲ甲府區域ニ施行ス其他各區ニ至テハ戶口ノ疎密財產ノ饒乏各地不同シテ一定ノ方法ヲ設ケ難キニヨリ務テ其他ノ實況ニ應シ此規則ヲ斟酌施行センコトヲ要ス

第一章 消防區域人夫ノ組立

第一條 甲府消防區域ハ尋常町村ノ區畫ニ拘ハラズ左ニ記載スル所ヲ以テ一區域トナシ其消防ノ事務ハ甲府警察署ニ於テ統轄スヘシ

第一區

第二區 稻門村 舊朝氣村ヲ除ク

里垣村ノ内 舊板垣村 舊東光寺村

第四區 飯沼村 上府中組 鹽部村

相川村ノ内 舊宮前町 舊納戸町 內昌永組

第十類

第二條 前條區域内ニ備フル消防人夫左ノ如シ

第一番組

- 組頭 一人
- 小頭 四人
- 纏持 二人
- 楷子持 二人
- 平組 四拾人

第二番組

全上

合計九拾八人

右毎組ノ内又小頭一人平組拾人ツ、チ分テ一伍ト爲ス

第三條 消防夫ハ組頭以下各其順序ニ隨ヒ相當ノ年給ヲ附與スヘシ

第四條 消防夫ハ年齢十八年以上五十年以下體格強壯ニシテ盜罪等ヲ犯セシコトナキ者ヲ採ル

第五條 消防夫ヲ募ルノ法ハ區域内ノ區戸長チシテ相當ノ者ヲ選舉セシメ甲府警察署ニ於テ之ヲ命ス

第二章 消防器械補償

第六條 消防器械并屬具ハ總テ甲府警察署ニ備置クヘシ其目左ノ如シ

- 纏子 二個 一組一個宛
- 大旗 一個
- ポンプ又ハ龍吐水 八個 壹伍壹個宛
- 高燈 一個
- 運水車
- 刺口
- 鷺又
- 消札

第七條 消防夫ニ貸付ル品目并ニ保存期限左ノ如シ

但保存期限内ト雖モ消防ノ爲メ破損ニ及フ者ハ檢査ノ上引替下渡スヘシ又右期限ヲ過ルトモ其物品猶用ルニ堪ル時ハ引替ヲ延スコトアルヘシ

品目	員數	保存期限
半纏	一人一個宛組 頭ハ長半纏	二年
三尺帶	同	同
頭巾	同	五年
腰指燈	組頭一個宛 組員壹個宛	壹年

第八條 貸附品ハ消防及ヒ召集ノ節ノ外猥リニ着用携提シ又ハ他人ニ貸與フルヲ禁ス
第九條 消防ノ爲メニアラスシテ貸附品ヲ遺失毀損シタル時ハ其者ノ自費ヲ以テ償辨
セシムヘシ

第三章 消防

第十條 出火ノ信號ヲ聞ク時ハ警察官吏ハ勿論病院醫名^一兩該地ノ區戸長等速ニ災場ニ
奔赴シ警察臨時出張所ニ湊合スヘシ

第十一條 警察臨時出張所ハ災地最寄ニ於テ便宜ノ地ニ假設シ火災中目下ノ事務ヲ扱
フ所トス故ニ其目標トシテ別紙雛形ノ如キ大旗又ハ高燈ヲ掲シヘシ

第十二條 災場ニ在テ人夫ノ進退其他消防ニ係ル一切ノ指揮ハ甲府警察署長ノ專任ト
ス

第十三條 消防擔任ノ巡查ハ專ラ人夫ヲ助テポンプノ運轉等ニ任スヘシ尤現場懸リ口
或ハ運水ノ便否等ニ付意見アラハ署長ニ向テ之ヲ陳述シ及ヒ署長ノ指揮ヲ受ケ消防
夫ニ傳令スルコトヲ得

第十四條 消防擔任ニアラサル警部巡查ハ專ラ災地ノ人民ヲ助ケ財産ヲ保護シ盜賊ヲ
防キ或ハ災地ノ周圍ヲ巡視シ無用ノ見物人ヲ排制シ其他總テ消防ノ障害トナル者ヲ
除クニ注意スヘシ

第十五條 消防夫ハ平素半纏其他附屬品等手許ニ差置キ出火ノ信號ヲ聞クトキハ速ニ
警察署ニ馳付ケ消防器械ヲ取出シ各組過半集ルニ至ラハ組頭之ヲ帥ヒテ災場ニ赴ク

第十六條 消防夫他行先ニテ出火ノ信號ヲ聞ク時ハ速ニ歸宅整裝シテ警察署又ハ現場
ニ馳付クヘシ

第十七條 若シ出先最寄ノ出火ニテ歸宅ノ暇ナキ時ハ直ニ現場ニ至リ其旨組頭ニ斷ル
ヘシ

第十八條 消防夫災場ニ至ル時ハ進退掛引總テ警察署長ノ指揮ヲ受ケ組頭之ヲ統轄シ
專ラ協力一致ヲ旨トシ區々ノ進退ヲナスヘカラス

第十九條 纏持ハ其掛口ニ先登シ一組ノ目標トナルヘシ

第二十條 櫓子持ハ前條ノ掛口ニ櫓子ヲ架シ其基址ヲ堅牢ニシテ顛倒ノ虞ナカラシ
ムヘシ

第二十一條 平組ハ氷ヲ運ヒ及ヒポンプ其他ノ器械ヲ取扱ヒ或ハ家屋垣牆ヲ取毀ツ等
ノコトニ盡力スヘシ

第二十二條 火中ニ働ク纏持其他ノ者ニ水ヲ洒ク等ノコトハ平組ニテ手落ナキ様厚ク
注意スヘシ

第二十三條 消防中喫飯ノ時刻ニ臨ム時ハ區戸長ニ於テ餉糧ノ用意ヲナシ警察署長ニ
申告シタル上消防夫ヲシテ喫飯ニ就カシムヘシ

第二十四條 消防中他ニ出火又ハ飛火アルトキハ署長ノ指圖ヲ待テ消防スヘシ一己ノ
存意ヲ以テ猥ニ伴伍ヲ離ルヘカラス

第貳拾五條 鎮火ノ上ハ署長ノ指圖ニ從シ大旗又ハ高燈ノ下ニ整列シ組頭以下人員ノ
檢査ヲ受クヘシ

第貳拾六條 鎮火ノ上全ク寄場ニ引上ケル時ハ組頭ニ於テ消防諸具ヲ調査シ夫々ノ位
地ニ排列スヘシ

第貳拾七條 火災中左ノ件々ハ警察臨時出張所ニ申出ツヘシ

- 一 被災者差向キ假住ノ場所ナキ者
- 一 目下衣食ニ差支ル者
- 一 死者ノ檢視
- 一 負傷者ノ治療
- 一 盜難ニ罹リタル者
- 一 盜賊ヲ捕ヘタル者
- 一 物ヲ遺失シタル者
- 一 遺失物ヲ得タル者
- 一 迷子病人等アルヲ見受ケタル者

第貳拾八條 消防夫病氣其他ノ事故アリテ不參スル時ハ最寄組合ヲ以テ組頭ニ斷リ警
察署長ニ届出ツヘシ

第貳拾九條 消防ノ庇蔭ヲ受ケタル人民等ヨリ報勞ノ意ヲ以テ金貨若クハ物品ヲ消防
組ニ送ルモノアル時ハ雙方ヨリ警察署長ニ申出允準ヲ得タル後受納スヘシ

第四章 消防夫平素心得

第三拾條 消防夫ハ平素互ニ相教戒シ決シテ傲慢疎暴ノ振舞等アルヘカラス

第三拾壹條 仲間ト唱ヘ彼是黨ヲ分テ抗抵シ其他他人ノ妨害トナルヘキ所業ヲ嚴禁ス

第三拾貳條 組中不届合ノコトアレハ組頭又ハ小頭ニ申出懇篤説諭ヲ受ケ官署及セ他
人ヲ煩ハサル様深ク注意スヘシ

第三拾三條 私用ノ爲旅行スル時ハ必ス代人ヲ選ヒ其者俱々組頭ニ届出タル上發足シ
歸著ノ節モ猶又届出ヘシ

但名代人ハ第壹章第四條ニ抵觸セサル者ニ限ルヘシ

第五章 消防夫賞罰

第三拾四條 消防ノ際非常ノ盡力アルカ又ハ平素行狀奇特ニシテ組中ノ標準トナル者
ハ相當ノ賞譽ヲ與フルコトアルヘシ

第三拾五條 左ノ條件ヲ犯シタル者輕キハ警察署長之ヲ呵責シ重キハ消防組ヲ差除ク
ヘシ

- 一 但消防組ヲ差除キタル者ハ所犯ノ事柄ニヨリ其年分ノ給料ヲ取揚ルコトアルヘシ
- 一 警察署長又ハ組頭小頭ノ指揮ニ違背シタルモノ
- 一 消防ノ際怠惰ニシテ盡力セサル者
- 一 不正ノ所行アルカ又ハ喧嘩口論等ヲナシ組中ノ名譽ヲ汚ス者
- 一 右ノ外此規則中ノ條件ヲ遵行セサル者

第卅六條 前條ノ如ク處分スト雖モ其犯ス所他ノ法律規則ニ觸レタル者ハ猶其法律規則ニ依テ處分スルコト勿論ノ義ト心得ヘシ

第六章 消防費

第卅七條 消防夫ノ給料ハ會計年度ノ末毎年第一區々務所ヨリ各人ニ下渡スヘシ

第卅八條 會計一年度中消防組ヲ差除キ又ハ新ニ申付タル者アル時ハ月割ヲ以テ給料ヲ下與スヘシ

第卅九條 消防夫貸付品ハ保存滿年ノ六月毎ニ第一區々務所ニ於テ調製ノ上貸渡スヘシ

第四拾條 前條貸付品及消防器械臨時破損スル時ハ區戶長ニ於テ檢査ヲ遂ケ警察署長ト協議ノ上修理又ハ改造新調スヘシ

第四拾壹條 前條ノ經費及ヒ其他消防ニ關スル一切ノ費用ハ民費集散做規則第拾五條但書ニ準シ消防區域内ニ課出スヘシ(大旗高燈ノ圖略ス)

(四五) 畜犬取締規則

○甲第拾三號 明治十九年 二月廿三日

畜犬取締規則別紙之通之ヲ定ム

右布達候事

畜犬取締規則

第一條 畜犬ニハ必ス畜主ノ住所氏名ヲ明記シタル標札ヲ其頸部ニ繫付スヘシ若シ標

札ヲ付セサルモノハ畜主ナキモノトシ何人ニテモ之ヲ撲殺スルヲ得

第二條 畜犬疫病ニ罹リタルトキ若シハ狂亂シテ人ヲ害スルノ恐レアルトキハ畜主ニ

於テ速ニ之ヲ撲殺スヘシ若シ畜主ニ於テ撲殺シ難キトキハ所轄警察署又ハ巡行ノ巡

査ニ届出テ處置ヲ受クヘシ其他性質兇猛ナルモノハ畜主ニ於テ相當ノ取締(鐵鎖ヲ以テ之ヲ繫

キ又ハ其他適宜ノ方法ニ依リ)ヲ爲スヘシ

第三條 前條ニ違背シタルモノハ違警罪ニ依リ處分セラレヘシ

(四六) 機關機銃ヲ用ヒ猪鹿等ヲ捕ルヲ禁ス

○第廿六號 明治六年 二月

猪鹿又ハ野狐ヲ獲ンカ爲メ種々ノ機關ヲ設ケ或ハ機銃ヲ仕掛置夫カ爲メ過テ殺傷ヲ受

クル者往々有之ニ付右様ノ設致候儀以來可爲嚴禁旨去壬申十月中相達置候處右觸面ノ

趣未相辨者モ有之哉其後モ同様ノ次第ニテ人命損害候儀再三有之以ノ外ニ付殊更軍用

銃ノ儀ハ平常發炮不相成候旨兼テ申渡置候ヲ違背致シ濫リニ取出相用候者モ有之畢竟

村役人共示シ方不行届ノ儀ニ可有之候條銃砲所持主ハ勿論其他ノ者ニ至ル迄禁令ノ趣

及申聞猶ホ當分ノ内適宜ノ場所ヘ揭示致シ置屹度取締可致候

右之趣無誤可揭示者也

○第百六拾四號 明治六年 八月二日

猪鹿或ハ野狐ヲ獲ンカ爲メ機關機銃ヲ設ケ置ヨリ過テ殺傷ヲ受クルモノ度々有之ニ付

可爲嚴禁旨去壬申十月中并當年廿六號ヲ以テ及布達候通リノ處其後被仰出ノ次第モ有

之深山曠野猛獸往來ノ處ニ於テ設ケル所ノ坑窠窩者ニテモ一目瞭然ノ望竿抹眉索ヲ建
サル者ハ其過誤人ヲ危殆ニ陥ル、儀ニ付刑律ノ條ニ係ラサルヲ得ス若シ其疎漏ヨリシ
テ重キ人命ヲ損傷スルニ至ラハ其罪ノ不輕素ヨリ論テ不待儀ニ付若シ猛獸ノ害除カサ
ルヲ得サル事故アリ已ムヲ得スト雖モ其往來スル處人跡ヲ絶ツノ地ヲ選ニ標着等ノ設
疎漏ノ儀有之間敷事ニ付區戶長ニ於テ先々ヨリノ布達書ノ趣意ヲモ篤ト説論シ管内人
民ヲシテ堅ク相守候様精々注意可致事
右之趣管内無洩相達スル者也

○第二百廿四號 明治六年十月十五日

猪鹿ヲ獲ンカ爲メ機關銃ヲ設ケ置候儀ハ嚴禁ノ旨壬申十月并本年第廿六號ヲ以相達
其後被仰出ノ趣モ有之ニ付猶又第百六拾四號ヲ以テ布達致シ置候處先月以來機關銃ノ爲
ノニ命ヲ害フ者既ニ兩人ニ及ヒ右ハ度々布達ノ趣未タ貫徹セス區戶長ノ説論疎漏ニシ
テ普ク行届カサルヨリ重キ人命ヲ損害スルニ至リ實以不容易儀ニ付自今機關銃取設候
儀一切嚴禁候條追々相達候通リ區戶長ニ於テ急度可申聞萬一犯禁ノ者猶有之ハ本人ハ
勿論其關係正副戶長ノ越度ニ屬シ嚴重處分可有之候間此旨可相心得事
右之趣管内無洩相達スルモノ也

(四七) 有害鳥獸威殺取締規則

○甲第七十二號 明治十八年九月七日

明治九年本縣甲第四拾壹號布達並同十七年本縣甲第四十壹號布達ヲ廢シ更ニ有害鳥獸

威殺取締規則別紙之通之ヲ定ム

但本年既ニ威銃ノ免許ヲ得タルモノハ此規則ニ從ヒ來ル廿日限更ニ所轄郡役所へ願
出許可ヲ受ケヘシ

右布達候事

有害鳥獸威殺取締規則

第一條 有害ノ鳥獸ヲ除カン爲メ空砲ヲ發スルヲ威銃トシ實彈ヲ發スルヲ殺銃トス

第二條 殺銃ハ其被害威銃ヲ以テ除キ難キ場合ニ限り許可スル者トス故ニ許可ヲ與ヘ

タル後ト雖トモ威銃ニテ除害シ得ルモノト認ムルカ又ハ危險ノ虞アルトキハ射殺ヲ
止メシムルコトアルヘシ

第三條 威銃又ハ殺銃ヲ行ハント欲スルモノハ左ノ各項ヲ具シタル書面ニ戶長ノ奧印
ヲ請ケ威銃ハ所轄郡役所ニ殺銃ハ所轄警察署ニ願出テ免許ヲ受ケヘシ

一 除害ノ場所及期限

但除害ノ場所ニハ市街村落并人家ノ距離ヲ記入スヘシ

二 被害物ノ名稱

三 有害鳥獸ノ名稱

第四條 威殺銃ハ被害場ノ所有主若シハ管理人ニ許可スルモノトス其許可ヲ受ケタル
モノニ於テ家族若シハ雇人ヲシテ威殺ヲ行ハシムルトキハ家族若シハ雇人タルノ證
書ヲ渡シ家族雇人ハ必ズ之ヲ携帶スヘシ但左ニ列記シタル者ニハ威殺ヲ行ハシムル

ヲ得ス

- 一 十六歳未満ノ者
- 二 風癩白痴等ノ者
- 三 聾啞者

被害場ノ所有主若クハ管理人右ノ各項ニ抵觸スルモノナルトキハ後見人若クハ代理人ニ許可スヘシ

第五條 威殺銃免狀ハ免許ノ期限ヲ了リタル後七日以内ニ返納スヘシ若シ期限後尙ホ之ヲ行ハントスルモノハ更ニ願出テ免狀ヲ受クヘシ

水火盜難其他ノ事故ニ依リ免狀ヲ毀失シタルトキハ速ニ其事由ヲ届出テ更ニ免狀ヲ受クヘシ

第六條 殺銃ハ和銃玉目四匁八分以下若シクハ西洋獵銃ニ限ル軍用銃ヲ用ルヲ得ス

第七條 威殺銃ヲ行フトキハ必ス免狀ヲ携帯スヘシ若シ警察官又ハ巡查ヨリ求メアリタルトキハ之ヲ示シ檢査ヲ受クヘシ

第八條 威殺銃ハ免許ヲ受ケタル區域外ニ於テ行フヲ得ス又殺銃ハ日出前日没後ニ於テ行フヲ得ス若シ日出前日没後ニ於テ之ヲ行フヲ必要ナリトスルトキハ特ニ所轄警察署又ハ分署ノ許可ヲ受クヘシ

第九條 有害鳥獸ヲ銃殺シタルトキハ其員數并名稱ヲ記シ速カニ所轄警察署又ハ分署ニ届出ツヘシ

第十條 銃殺シタル鳥獸ハ賣買スルヲ得ス

第十一條 此規則ヲ犯シ又ハ威殺銃ヲ以テ人ヲ殺傷シ其他損害ヲ加ヘタル者ハ其狀情ニ依リ免狀ヲ取揚ルコトアルヘシ

第十二條 此規則ヲ犯シタル者ハ違警罪ヲ以テ處分セラルヘシ
(四八) 銃砲賣買讓與等願届出方

○縣令第五十號 明治廿一年十一月十七日

銃砲賣買讓與其他右ニ關スル願届方自今左之通相定ム

但明治十八年^{八月}本縣甲第六十七號同年^{十月}第七十六號布達ハ廢止ス

第一 軍用銃ヲ買受ントスルモノハ其住所ノ警察署へ願出免手形ヲ受クヘシ

第二 軍用銃ヲ讓與セントスルモノハ^(其讓主)双方連署ノ上其讓主所轄警察署へ願出ヘシ

第三 軍用銃ノ檢印ヲ要スルモノハ其所轄警察署へ願出ヘシ

第四 免許銃ヲ賣渡若クハ讓與スルモノハ双方連署ノ上賣主又ハ讓主ノ所轄警察署又ハ分署へ届出ヘシ

但他府縣ニ係ルモノハ連署ニ及ハス其一方ヨリ届出ヘシ

第五 銃砲^(軍用免)所持人ニシテ左ノ場合アルトキハ所轄警察署又ハ分署へ届出ヘシ

- 一 轉居又ハ代替
- 一 銃砲所持ノ上寄留及復歸

一 銃砲ノ水火盜難
一 廢銃又ハ改造

第六 前各項ノ手續ニ違背シタルモノハ五錢以上五十錢以下ノ科料ニ處ス
但刑法及罰則ニ觸ルモノハ各其明文ニヨリテ處分セラルヘシ

(四九) 職業用火藥買受許可証願出方

○縣令第八十六號 明治二十年二月十六日
銃砲用及坑業土工其他職業用ニ供スル火藥類買受ケノ許可証ハ所轄分署ヲ經テ願出ルヲ得

(五十) コロールサンカルム賣買授受届出方

○縣令第八十三號 明治廿二年十一月九日
何人ヲリトモ格魯兒酸加溜謨(鹽素酸加溜謨又ハ鹽酸加里)ヲ賣買授受スルトキハ豫メ其斤量及需用ノ目的ヲ明記シ左ノ書式ニ從ヒ賣主授主ノ管轄警察署又ハ分署ニ届出認可ヲ受クヘシ
但警察官ハ臨時其現品ヲ検査スルコトアルヘシ
前項ノ手續ニ違反シ賣買授受ヲ爲シタルモノハ壹圓以上壹圓九十五錢以下ノ科料又ハ三日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

式書 (紙濃美ハ又紙半紙用)

格魯兒酸加溜謨	斤量
右ハ(醫藥)(工職用等何々)必要ニ付前書ノ斤量(賣買)	
(授受)致度御認可被成下度候也	
本籍 <small>府市町村</small> 何何番地	
現住地 <small>府市町村</small> 何何番地	
(買主)(受主) 氏 名 實印	
何 <small>府市町村</small> 何何番地族籍	
(賣主)(授主) 氏 名 全	
年 月 日	年 齡
何警察本分署長宛	

(五一) 墓地埋葬取締細則

○甲第八號 明治十八年二月十九日
明治十七年十月太政官第二十五號布達ニ依リ墓地及埋葬取締細則別紙之通之ヲ定ム
但明治十六年九月甲第五十二號布達ハ自今廢止ス

第十類

右布達候事

墓地及埋葬取締細則

第一條 墓地ハ從前許可シタルモノニ限ル但已ムナ得サル事狀アリテ之ヲ取廣メ又ハ新設セントスルトキハ更ニ願出テ許可ヲ受クヘシ
從前許可シタル墓地ト雖トモ第二條ニ抵觸スルモノハ特ニ埋葬ヲ禁止スルコトアルヘシ

第二條 墓地ヲ新設セントスルトキハ縣道相當以上ノ道路及ヒ大川ニ沿ハス人家ヲ隔ルコト凡ソ六拾間以上ニシテ土地高燥飲用水ニ障礙ナキ地ヲ撰ミ且左ノ各項ヲ具シ管轄郡役所ヲ經テ縣廳ニ願出ツヘシ

一 縣道相當以上ノ道路并河川飲用水人家ノ距離

二 地種地目并反別

三 第一項ノ形樣ヲ見ルヘキ地圖

第三條 墓地ハ種族宗旨ヲ別クス其町村ニ本籍ヲ有シ若クハ其町村ニ於テ死亡シタルモノハ何人ニテモ之ニ葬ルコトヲ得

但從前別段ノ習慣アルモノハ此限ニ非ス

死刑ニ處セラレタルモノハ墓地ノ一隅ヲ區畫シテ其内ニ埋葬スヘシ

第四條 墓地ノ周圍(墓地ト墓地ニ非ラサ
ル地トノ境界ヲ云フ)ニハ樹木ヲ栽ユヘシ墓地ノ内ニハ壹丈以上ノ樹木ヲ栽ヘ又ハ塀牆ヲ設クヘカラス但從前ヨリ現存スルモノハ此限ニアラス

第五條 堀穴ノ深サハ六尺以上タルヘシ若シ土地ニヨリ六尺ニ至リ難キモノ及ヒ火葬ノ遺骨ヲ埋藏スルモノハ格別ナリトス

第六條 火葬場ハ人家及ヒ人民輻湊ノ地ヲ隔ル凡ソ百貳拾間以上ニシテ風上ニ位セサル地ヲ撰ヒ火爐煙筒ヲ備ヘ臭煙ヲ防クノ裝置ヲナシ且周圍ニ塀牆ヲ設クヘシ但山林原野等ニシテ人家及ヒ人民輻湊ノ地ニ遠隔ノ場所ナルトキハ必ス此構造ヲ爲サ、ルモ妨ケナシ

第七條 火葬場ヲ新設セントスルトキハ左ノ各項ヲ具シ管轄郡役所ヲ經テ縣廳ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

一 人家并人民輻湊地ヘノ距離

二 地種地目并反別

三 第壹項ノ形樣ヲ見ルヘキ地圖并火葬場構造ノ繪圖

第八條 火葬ハ成ルヘシ日沒後之ヲ行フヘシ

第九條 墓地及火葬場ハ清潔ヲ旨トシ掃除修繕ヲ怠ルヘカラス

第十條 墓標ヲ建設セント欲スルモノハ碑文ノ稿本ヲ添ヘ(第壹號書式ニ據ル)所轄警察署又ハ分署ニ願出ツヘシ

但死者ノ姓名官位勲賞法號及生死ノ年月日建立者ノ氏名等ヲ記スルニ止マリ誌銘傳贊等ノ碑文ヲ刻セサルモノハ許可ヲ受クルノ限ニアラス

第十一條 墓地火葬場ニハ管理者ヲ定メ置キ其氏名ハ所轄警察署又ハ分署ヘ届ケ置ク

第十二條 死屍ヲ埋葬又ハ火葬セントスルトキハ主治醫ノ死亡届書ヲ添ヘ市役所又ハ

村役場ニ届出テ(第二號書式ニ據ル)市長又ハ村長ノ認許證ヲ受クヘシ但左ノ場合ニ

於テハ醫師ノ死亡届書ニ代ルニ檢案書又ハ證書ヲ以テスヘシ

- 一 醫師ノ治療ヲ受クル猶豫ナクシテ死亡シタル者ハ醫師ノ檢案書ヲ添フヘシ
- 一 姙娠四ヶ月以上ノ死胎ニ係ルトキハ醫師若クハ産婆ノ死産證書ヲ添フヘシ
- 一 變死ニ係ルトキハ立會醫師ノ檢按書ニ檢視官ノ檢印ヲ乞ヒ之ヲ添フヘシ
- 一 囚徒ノ死屍ヲ引取埋葬又ハ火葬セントスルモノハ獄醫ノ死亡證寫ニ司獄官ノ檢印ヲ乞ヒ之ヲ添フヘシ

第拾三條 市長又ハ村長ハ前條ノ届書若クハ證書檢按書ヲ領收スルニアラサレハ埋葬

若クハ火葬ノ認許證ヲ附與スヘカラヌ但認許證ハ埋葬届書ニ式ノ如ク朱書シ之ヲ

附與スヘシ

第拾四條 改葬ヲ爲サントスルトキハ改葬ヲ要スル事由ヲ具シ(第二號書式ニ據ル)所

轄警察署(又ハ)ニ願出ツヘシ

第拾五條 葬主ハ市長又ハ村長ヨリ附與シタル認許證又ハ警察署(又ハ)ヨリ附與シタル

認許證ヲ管理者ニ交付シ而ル後埋葬火葬又ハ改葬ヲ執行スヘシ

火葬ノ遺骨ヲ埋葬スルトキハ市長又ハ村長ヨリ附與シタル火葬認許證ノ寫ニ火葬場

管理者ノ認印ヲ受ケ墓地管理者ニ交付スヘシ

甲ノ墓地ニ埋葬シタルモノヲ乙ノ墓地ニ改葬スルトキハ甲地所轄警察署(又ハ)ノ許

可證ヲ甲ノ墓地管理者ニ交付シ其寫ニ甲ノ墓地管理者ノ認印ヲ受ケ乙ノ墓地管理者

ニ交付スヘシ

第拾六條 管理者ハ葬主ヨリ領收シタル市長又ハ村長ノ認許證ヲ編纂シ每二ヶ月所

轄警察署(又ハ)ノ檢閱ヲ受ケ之ヲ市役所又ハ村役場ヘ差出スヘシ其警察署ヨリ發シ

タル許可證ハ之ヲ警察署(又ハ)ニ差出スヘシ

第拾七條 管理者ハ墓地ノ繪圖及墓籍ヲ製シ置キ其墓籍ニハ左ノ各項ヲ記載スヘシ

- 一 死者ノ氏名年齢族籍
- 一 葬主ノ氏名族籍

一 埋葬火葬ノ年月日時

第拾八條 第一條第一項第三項第七條第十條第十二條第十三條第十四條第十五條ニ違

背シタルモノ又ハ第四條第九條第十一條第十六條第十七條ニ違背シ督促ノ命令ニ從

ハサル者ハ一日以上三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ二十錢以上一圓廿五錢以下ノ科料ニ

處ス

附則

本則第壹條從前許可シタル墓地トハ寺院舊境内ニ係ル檀家共葬ノ墓地及一村若クハ一部落共葬ノ墓地並此規則發行以前新ニ許可ヲ受ケタル共葬墓地ヲ云フ其他從來宅地又ハ田畑畔際及山野等ニ設ケアル單用若クハ數人共有ノ墓地ニ於テハ埋葬スルヲ許サス第壹號

墓標建設願

山梨縣何郡(市)何町幾番地(寄留)

士族平民

何

某

一 墓碑

豎何尺何寸
橫何尺何寸

右ハ私亡父母子孫兄弟姉妹何誰明治何年何月何日何處墓地ニ埋葬致候處今般墓標建設仕度候ニ付別紙碑文ノ稿本相添此段相願候也

年 月 日

右 何

某 印

山梨縣何警察署御中

前書之通出願ニ付與印候也

何郡(市)何町村

年 月 日

(市村)長 何 某 印

第貳號

埋(火)葬届

山梨縣何郡(市)何町幾番地(寄留)

士族平民何誰(父母子孫兄弟姉妹)

何

某

右ハ何年何月何日何々ノ病症相發シ何月何日何時終ニ死去候ニ付何日何時何處ニ埋(火)葬致度候間認許證御附與有之度別紙醫師死亡届(檢案書)相添此段及御届候也

年 月 日

右戸主(親戚) 何

某 印

戸長 何 某 殿

右届出之趣ヲ領承シ埋(火)葬ヲ認許ス

何郡(市)何町村

年 月 日

(市村)長 何 某 印

第三號

改 葬 願

山梨縣何郡(市)何町幾番地(寄留)

士族平民

何

某

私亡(父母子孫兄弟姉妹)何誰何年何月何日何處墓地ニ(假)埋葬致置候處今般何々(事由詳カナルヲ要ス)ニ依リ何所墓所ニ改葬仕度此段相願候也

年 月 日

右 何

某 印

山梨縣何警察署(分署)御 中

前書之通出願ニ付與印候也

何郡(市)何町村

年 月 日

(市村)長 何 某 印

百六

(五二) 共葬墓地外ニ於ケル埋葬ヲ禁ス

○甲第五拾貳號 明治十六年九月十九日

寺院舊境内ニ係ル從前檀家共葬ノ墓地及一村若シハ一部落共葬ノ墓地並今後新ニ許可ヲ受ケタル共葬墓地ノ外從來宅地又ハ田畑畔際及山野等ニ設ケアル單用若シハ數人共有ノ墓地ニ於テ埋葬儀相成ラス
右布達候事

(五三) 盜難届出方

○縣令第七拾四號 明治廿二年十月十二日

自今盜難ニ罹リ候者ハ其年月日時及被盜品ノ種類員數並見積代價等書面又ハ口頭ヲ以テ迅速最寄警察署分署巡查駐在所若シハ巡行ノ警察官吏へ届出へシ

(五四) 漂流物届出方

○甲第四百拾九號 明治十四年十月十六日

暴雨洪水ノ爲メ諸河川ニ漂流シタル材木物品等引揚又ハ拾ヒ得タルモノハ明治八年第六拾六號公布内國難破船及漂流物取扱規則全十年第廿九號公布ニ準據シ處分スヘキモノニ付右漂流木等引揚ケ又ハ拾ヒ得候モノハ取纏メ置速ニ所轄警察署又ハ分署へ届出ツヘシ此旨布達候事

(五五) 野守雇入心得

○甲第四拾八號 明治七年二月廿八日

各村雇置候野守之儀ハ其村内耕地養水路ノ見廻作物ノ妨害等防護シ其他一村内ノ雜事使役ニ供スル爲メノ趣意ニテ畢竟尋常ノ各家雇入人之其雇主ニ對シ其職務ヲ盡スモ全一ニシテ其被雇ノ村方ニ對シタル用向ノ外關係無之筈ノ處追々相達候舊來村番人ノ惡習于今不相改動モスレハ他區他村迄モ立入威權ケ間敷名ヲ詮議等ニ托シ惡事ヲ見廻シ内濟取計金錢貪取候様ノ惡行有之趣相聞不届ノ事ニ候右様不正ノ者ハ取亂至當ノ處分可有之候得共抱置候村方ニテモ野守ノ職分ヲ誤認致シ候ヨリ前件ノ如キ弊ヲ生シ又一般人民ニ於テモ野守ノ趣意ヲ不相辨役員ノ様相心得候者モ有之旁不都合不少一休人民保護取締ノ儀ハ裁判所ニ於テモ逮部ヲ置キ縣廳ニテモ巡邏ノ番人ヲ設ケ惡徒追捕搜索等擔任候事ニテ野守ニ於テ右様不心得ノ所行有之候テハ公ノ權ヲ犯シ候儀ニ相當リ以テノ外ノ事ニ付以來各村正副戸長ニ於テ篤ト人撰ノ上雇入急度取締可致向後猶モ舊習不相改ニ於テハ品ニ寄リ其村正副戸長ノ越度タルヘシ候依テ野守雇入心得方別紙ニ相示候條厚シ可相心得事

但野守之義ハ可成相應シ伍長等ニテ日課ヲ立村内取締ノ方法協議可致事
右之趣管内無洩相達ル者也

野守雇入心得

一野守ノ儀ハ一村内ノ雇人ニテ尋常農商其他一家雇人ト同一般ノ儀ニ付總テ其雇主ニ對シタル事件ノ外他ニ關係爲致間敷事

第十類

百七

一 墾入ノ大要ハ村内耕地ノ障碍養水路ノ安危等ヲ見廻リ其他林藪或ハ社寺堂宮等ニ隱レ忍フ胡亂ノ者有無等心付或ハ平常村内一般ノ雜事ニ使役スル者ト可心得事

一村内見廻リ先ニ於テ若盜賊等現ニ惡業有之歟或ハ人家へ忍入等見受候節ハ差押へ不苦候得共唯不審ト見認ル迄ニテ現ニ惡業不見届者ヲ捕押ユル事一切不相成是等ハ早々村役へ報知差圖ヲ受へク自己ノ存意ヲ以テ差押又ハ他區他村迄モ立入候等ノ儀有之間敷事

但現ニ惡行不見届共近傍村々ヨリ追逐シ來ル歟又ハ布達入相書ニ似寄ノ者或ハ持凶器人ヲ殺傷スルノ類臨時急遽ノ際村役へ届出ル暇無之場合等ハ此限ニ非スト雖モ素ヨリ雇主へ對シ防護スル迄ノ職務ト可相心得事

一 耕地ノ妨害ヲナスカ又ハ諸惡行有之者差押方ハ村役ヨリ差圖ノ外他人ノ囑托ヲ受ケテ取計ノ事一切不相成假令輕キ事ニテモ頼ミテ受見遁シ又ハ取遁シ金錢等貪取ル等ノ義ハ勿論堅ク可相戒事

(五六) 乞食取締方

○甲第二百二十五號 明治六年十一月九日

脱籍無産ノ徒復籍方ノ義ニ付テハ追々被仰出モ有之右ハ全ク厚キ御仁慈ニテ從來非人乞食ト唱フルモノモ遠路多分ノ官費ヲ以テ舊籍ニ送り其地方ニ於テ授産ノ道ヲ立テ夫々相當ノ世話有之事ナレハ最早無宿乞食ノ類ハ一人モコレナキ筈ノ處管下村々往々乞食徘徊イタシ御主意未ダ貫徹セサル趣ニ相見え不相濟事ニ候右等ノ者ハ畢竟自ラ職

業ヲ務ムル事ヲ嫌ヒ再三本籍ヲ脱シテ流民トナリ仁慈ノ御主意ニ悖ル者ニテ其罪不輕トイヘトモ其弊又食物等ヲ與フルモノアルニユル凡人情乞食ニ物ヲ與フルヲ仁心ト心得タル者アレトモ是其一ヲ知テニテ知ラサルナリ今身不幸薄命ニシテ盲目トナリアレナヘトナリ止ムヲ得スシテ乞食ヲナス癡疾ノ者ハ十ガ一ニ過ス多クハ無賴放蕩ニシテ職業ヲ勉メス或ハ父兄ノ教育ニ背キ籍ヲ脱シテ漂泊シ人ノ門口ニ立テ食ヲ乞ヒ或ハ隙ヲ窺ヒ財貨ヲ盜ムヲ以テ常トス實ニ惡ムヘキノ甚シキモノナラスヤ試ニ看ニ盜賊ヲ捕ヘ吟味ノ上ニテハ十二七八ハ悉ク強健ノ無宿乞食ニアリ乞食ヲ救フハ盜人ヲ養ヒ置クモ同理ニテ其害衆庶ノ難儀トナリ取締ノ道モ不相立候條以來管下出生ノ者ハ不幸癡疾等ニテ養ヒテ受クヘキ便リナキ者ハ其町村ニテ救助イタシ遣スヘシ而シテ一切乞食ニ物ヲ與フルヲ禁ス依之向後町村申合セ別紙箇條ノ通可取計若シ緩カセノ儀コレアルニ於テハ右箇條ニ照準シ取締番人ニ於テ處分イタシ候條此旨可相心得事

但管外ノ者ト雖モ癡疾等ニテ難澁ノモノハ其所ニ留置憐愍ヲ加ヘ飢渴ヲ救ヒ遣スヘシ是則チ癡疾無告ノ究民ヲ恤マセラルノ御主意ヲ奉戴スル一端ニシテ人間互ヒニ相濟救スルノ義務ナレハ聊疎略ノ心得コレアルヘカラサル事

右ノ趣管内無洩相達スル者也
第一 兼テ町村内申合セ置乞食徘徊イタシ候ハ、速ニ放逐スヘシ
第二 若シ乞食徘徊スルカ又ハ物ヲ與フル者見當ラハ番人ヨリ其戸主或ハ其町村へ引渡スヘキニ付戸籍へ編入シ住宅其他養育方世話イタシ遣スカ又ハ其戸主或ハ其町村

費用ヲ以テ生所へ差送ルヘシ然ル上ハ先方所役人ノ受取証書ヲ取リ届出ヘシ

第三 引渡ノ上若等閑ニシテ逃亡セシムルニ於テハ其戸主或ハ其町村へ尋方申付ヘシ

第四 管轄境ノ宿村ニ於テハ乞食入込マサル様心付ヘシ若入込ム時ハ元ノ道へ追ヒ返

スヘシ

第五 村内社寺其他野末端々ニ至ルマテ平常心付詮議スヘシ等閑ナルニ於テハ其寺或

ハ其村へ引渡スニ付第二條ノ通取計フヘシ

第六 説經祭門芝居等其他職敷業ヲ行ヒ金錢ヲ乞フテ町村ヲ徘徊スル者モ前條ノ如ク

處置スヘシ

右ノ條々相心得雇人末々ニ至ル迄堅ク相守候様其戸主ヨリ嚴重可申聞置事

(參看)

○乞食取締注意方

警第十號 明治十八年 五月廿五日

郡 役 所
戸 長 役 場

乞食并之ニ類スルモノ處分方ニ付テハ明治六年本縣甲第二百三十五號布達ノ

趣モ有之候處近來乞食ノ輩町村ヲ徘徊シ社寺或ハ河邊等ニ宿泊スルモノ有之

哉ニ相聞ヘ不都合ニ候條取締方嚴重注意可致此旨及訓示候事

(五七) 講中ト唱へ病者ノ祈禱ヲ爲スヲ禁ス

○第百五號 明治六年 抄錄 五月十五日

一金毗羅講大嶽山講駒ヶ嶽講題目講杯相唱へ多人數仲間ヲ結ヒ病者ノ祈禱等執行ヒ或

ハ種々ノ名目ヲ以テ勸化イマシ時トシテハ多人數集合シ無益ニ時日ヲ費シ候舊弊有

之今日ノ時体ニシテ如此野鄙ノ所業ハ有之間敷筋ニ付右ノ類已後一切令禁止候事

○甲第八拾六號 明治十四年 六月十八日

從前金毗羅講駒ヶ嶽講題目講杯ト稱へ多人數仲間ヲ結ヒ病者ノ祈禱等執行候義禁止候

旨明治六年五月中相達置候處近來妙法講社ト稱スル信徒同様ノ所爲ヲ以テ唱題シ爲メ

ニ病者醫藥ヲ需メサル等ノ弊害有之趣相聞衛生上ノ障害不少ニ付自今病家ニ於テ右等

唱題スル儀禁止候條此旨布達候事

(五八) 博奕ニ紛敷所業ヲ禁ス

○甲第百五號 明治六年 五月十一日

一博奕其他賭ノ勝負ハ兼テ御禁止ニ有之然ル上ハ右ニ紛敷所業致ス間敷ハ勿論ノ處從

來スニコ或ハムサシアナイチト唱へ錢木實等ヲ以テ勝負ヲ争フノ類兒童ノ戯ト雖モ

成長ノ後終ニ博奕等好ムノ濫腸タリ甚宜シカラサル風俗ニ付向後一切禁止候條父兄

ヨリ篤ト可申聞若詭フ者有之ニ於テハ其父兄ノ越度タルヘキ事

(五九) 瘋癲病者ヲ鎖錮セントスルキ願出方

○縣令第五拾號 明治二十年 五月廿四日

瘋癲病者保護ノ爲メ私宅ニ鎖錮セントスルトキハ其家屋ノ圖面并ニ室ノ構造書及醫師

ノ診斷書ヲ添へ親族連署ヲ以テ所轄警察署又ハ分署ニ願出テ認可ヲ受クヘシ

但開鎖シタルトキハ其旨所轄警察署又ハ分署へ届出ヘシ

〔六十〕新聞雜誌類受賣人届出方

○縣令第三號 明治廿二年 二月廿三日

明治十九年本縣甲第七號布達左之通り改正ス

新聞紙雜誌受賣人届出方

新聞紙發賣所及發賣人ニアラフニテ新聞紙雜誌ノ受賣ヲ爲サントスルモノハ其種類ヲ所轄警察署又ハ分署へ届出へシ轉住改氏名及新聞紙雜誌ノ種類ヲ増減シタルトキ亦全シ違フモノハ五錢以上壹圓以下ノ科料ニ處ス

〔六一〕違警罪罰則

○縣令第八十一號 明治廿二年 十一月二日

明治十五年本縣甲第十號違警罪罰則左之通り改正ス

山梨縣違警罪罰則

左ノ諸件ヲ犯シタルモノハ一日以上七日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五錢以上壹圓五十錢以下ノ科料ニ處ス

- 一 官許ヲ得スニテ渡船又ハ道路橋梁ノ賃錢ヲ取リタル者
- 一 正當ノ理由ナシシテ官署ノ呼出ニ應セサル者
- 一 墓地及埋葬取締規則ニ違背シタル者
- 一 各所ニ榜示スル禁令ニ違背シタル者
- 一 新聞雜誌ヲ讀賣スル者

- 一 病死ニ係ル鳥獸タルヲ知リテ食料ノ爲メ販賣シタル者
- 一 喧嘩口論ヲ爲シ又ハ之ヲ教唆煽動シタル者
- 一 強テ合力ヲ申掛又ハ物品ヲ押賣シ若クハ勸財ヲ爲シタル者
- 一 夜間十二時ヲ過キ制止ヲ肯セス歌舞音曲又ハ喧嘩シタル者
- 一 人ニ汚穢物又ハ木石等ヲ抛洗シタル者
- 一 甲府市街及人家稠密シタル村落ノ路上又ハ店先ニ於テ袒裼裸体シタル者
- 一 甲府市街ニ於テ尿尿其他惡臭アル肥料ヲ蓋ナキ容器ヲ以テ運搬スル者
- 一 飲用水路ニ汚穢物ヲ投入シタル者
- 一 川堀下水等へ土芥木石ノ類ヲ投入シテ流通ヲ妨グル者
- 一 鶏犬ニ鬪爭ヲ爲サシメタル者
- 一 摺付木製造ニ黃色燐ヲ用ユル者

第十一類 租稅

○地租條例取扱心得

○甲第四拾貳號 明治十七年六月廿六日

本年三月第七號地租條例布告相成候ニ付取扱心得別冊之通制定ス

但從前ノ達指令等本條ニ抵觸スルモノハ廢止ス

右布達候事

地租條例心得書

第一條 有租地中ノ各地目ニ包含スル種類左ノ如シ

第一類

田	未定田	沼田	山作畑	切替畑
畑	未定畑	流作畑	水車敷地	
郡村宅地	燒畑	堂宇敷地	鹽沼	
市街宅地	社寺境內	製鹽畑	未定鹽濱	
鹽田	溫泉地	冷泉地	養魚地	
礦泉地	遺堀池	井戸敷地	水車溝	
第二類				
池沼				

第十一類

一割五分ト爲シ左ノ算則ニ據テ定ムルモノトス
地價算則

田畑ハ收穫物ノ内ヨリ種肥料ヲ引去リ其殘數ニ檢査石代ヲ乘シ實ト爲シ其他ノ地目
ハ所得金ヲ以テ實ト爲シ地租率百分ノ三(地租改正ノ節用ヒタルモノ)ト地方稅率百
分ノ一(地租改正ノ節村費ト稱セシモノ)トヲ合シ之ニ利率ヲ加ヘ法トナシ法ヲ以テ
實ヲ除シ得ル數ヲ地價ト爲ス

第十一條 地目變換ヲ爲セシモノハ更ニ實地ヲ丈量シ近傍類地ニ比較地位等級ヲ定メ
別紙第二號離形ニ準據シ年內兩期(一月ヨリ六月マテ)ニ係ル分ハ七月三十日限リ
(七月ヨリ十二月マテ)ニ係ル分ハ翌年一月三十日限リニ取調野取繪圖(第一號離形)
及ヒ地引繪圖(第十七號離形)相添郡役所ヲ經テ差出スヘシ

第十二條 開墾ヲ出願シ墾下年期又ハ繼年期ヲ願出ルトキハ地租條例第十六條ニ定ム
ル年期内ニ於テ相當ノ年期ヲ附シ圖面(第十七號離形)相添ヘ郡役所ヲ經テ差出スヘ
第十三條 開墾墾下年期明ニ至ラハ更ニ實地ヲ丈量シ近傍類地ニ比較地位等級ヲ定メ
別紙第四號離形ニ準據詳細取調野取繪圖(第一號離形)及ヒ地引繪圖(第十七號離形)
相添期明ノ年一月三十日限リ郡役所ヲ經テ差出スヘシ

第十四條 水害及ヒ山崩等ノ爲メ有租地ノ荒地トナリ免租年期ヲ請ハント欲スルトキ
ハ別紙第五號離形ニ準據損害ノ輕重起返ノ難易ヲ審察シ地租條例ニ依リ其年期内ニ
於テ實地適當ノ年期取調色分繪圖(第十七號離形)相添其時々郡役所ヲ經テ差出スヘ
第十五條 荒地免租年期明ニ至ラハ左ノ各項ニ依リ取調實地丈量ヲ要スル分ハ第二條
ニ準據シ野取繪圖(第一號離形)及ヒ地引繪圖(第十七號離形)相添期明ノ年一月三十
日限リ郡役所ヲ經テ差出スヘシ

但地引繪圖ハ實地丈量ヲ要スルト否トナ問ハス總テ調書ニ添ヘ差出スヘシ
一免租年期明ニ至リ原地價ニ復シタルトキハ別紙第六號離形ニ倣ヒ取調フヘシ
一免租改正以前ノ荒地ニシテ實地相當ノ地位ニ起返リタルトキハ別紙第七號離形ニ倣
ヒ取調フヘシ
一免租年期明ニ至リ尙荒地ノ形狀ヲ存シ繼年期ヲ請フトキハ別紙第八號離形ニ倣ヒ取
調フヘシ

一免租年期明ニ至リ直ニ原地價ニ復シ難ク低價年期ヲ請フトキハ別紙第九號離形ニ倣
ヒ取調フヘシ
一免租年期明ニ至リ他ノ地目ニ變換セシ分ハ別紙第十號離形ニ倣ヒ取調フヘシ
一免租改正以前ノ荒地ニシテ年期明ニ至リ起返ルト雖モ地味未タ元ニ復サス直ニ等級
定メ難ク低價年期ヲ請フトキハ別紙第十一號離形ニ倣ヒ取調フヘシ
一免租年期明ニ至リ他ノ地目ニ變換起返ルト雖モ地味未タ元ニ復サス直ニ等級ヲ定メ
難ク低價年期ヲ請フトキハ別紙第十二號離形ニ倣ヒ取調フヘシ

一 低價年期明ニ至リ原地價ニ復シタルトキハ別紙第十三號雛形ニ倣ヒ取調フヘシ
 一 低價年期明ニ至リ尙原地價ニ復シ難キ分アルトキハ別紙第十四號雛形ニ倣ヒ取調フヘシ

六

一 免租年期中再荒地トナリタルトキハ別紙第八號雛形ニ準據シ
 〔第八號雛形(繼地)トシ(何ケ年期明ノ處未起返)ヲ取調フヘシ〕
 一 低價年期中再荒地トナリタルトキハ別紙第五號雛形ニ準據シ
 〔第五號雛形(水害損地ニ元地價及低價年期ヲ未書スヘシ)取調フヘシ〕
 一 假地價ノ低價年期明ニ至リタルトキハ別紙第十四號雛形ニ準據シ
 〔第十四號雛形(低價ニ復シ難キ)ヲ(假地價低價年期明)トシ取調フヘシ〕
 一 反別肩書(原地價)ヲ(假地價)ト更訂スヘシ
 〔取調フヘシ〕
 第十六條 地租條例第四條第十三條 公立學校敷地 鄉村社地 墳墓地 用惡水路溜ニ依リ免租ヲ請フトキハ別紙第十五號雛形ニ倣ヒ取調繪圖面(第十七號雛形)相添其時々郡役所ヲ經テ差出スヘシ
 第十七條 官有地 拂下又ハ舊道路敷 川敷及ヒ民有地 第二種其他免租地(荒地ハ此限リニアラス)ヲ有租地トナサントスルトキハ別紙第十六號雛形ニ倣ヒ實地丈量ノ上近傍類地ニ比較地位等級取調野取繪圖(第一號雛形)及ヒ地引繪圖(第十七號雛形)相添其時々郡役所ヲ經テ差出スヘシ

第一號

(用紙美濃紙)

野取繪圖帳

何郡

何町村

右者(開墾銀下年期明)(荒地免租年期明)(地目變換)付地盤丈量任候處每筆之野取繪
圖前記之通相違無御座候也

年 月 日

右地主

何 何

何 何

戶 長

何 何

誰 誰

誰 誰

長官宛

第二號 地目變換地價修正取調上申

字何々

第何番

何 郡

何 何

村

(印ハ朱)

元田反別何程

此地價金何程

此地租金何程

一畑成反別何程

內反別何程

此地價金何程

何等

持主

何 何

誰 誰

丈量増

但反金何程

此地租金何程

字何々

第何番

元畑反別何程

此地價金何程

此地租金何程

一田成反別何程

內反別何程

外反別何程

此地價金何程

畦畔

何等

持主

何 何

誰 誰

丈量増

但反金何程

第何番

元宅地反別何程

此地價金何程

一畑成反別何程

外反別何程

此地價金何程

丈量減

何等

持主

何 何

誰 誰

字何々

第十一類

但反金何程

第何番

○元畑反別何程

○此地價金何程

一宅地成反別何程

內反別何程

此地價金何程

○以下倣之

○元反別何程

○此地價金何程

合反別何程

內反別何程

外反別何程

此地價金何程

內譯

○元畑反別何程

○此地價金何程

田成反別何程

內反別何程

此地價金何程

○元田反別何程

○此地價金何程

畑成反別何程

內反別何程

此地價金何程

○元宅地反別何程

○此地價金何程

畑成反別何程

外反別何程

此地價金何程

○元畑反別何程

○此地價金何程

宅地成反別何程

內反別何程

此地價金何程

○以下倣之

右者明治何年何月ヨリ同何月迄地目變換之分一筆限近傍類地ニ比較地位等級及地價金

持
同
入
印
但反金何程

丈量增

丈量增

丈量增

丈量增

丈量增

丈量減

丈量增

取調候處書面之通相違無之候間實地御査定之土地價御修正相成度依テ別紙圖面相添此段上申仕候也

年 月 日

右地主

誰印

何

誰印

何

誰印

何

誰印

長官宛

何郡

村

第三號 開墾費用收利取調書

字何々

第何番

一開墾反別何程

此人夫何人

此賃金何程

但壹反步ニ付何人積

但壹人ニ付金何程

成功後壹ヶ年収量

一米何程

此金何程

但壹反步ニ付

但壹石ニ付

收量ハ成功ノ上ハ近傍類地ニ比較シ
何等地ニ相當スルヤ見込ナ立同等地
ノ壹反步當ノ(米麥)田ハ米畑ハ麥ヲ
以テ算出スヘシ種肥料ハ收穫ノ一割
五分トス

素地ニ係ル地租並地方稅協議費
種肥料

内金何程
殘收利金何程

右者今般別紙ヲ以開墾出願候ニ付該費用及ヒ成功後ノ收利取調候處書面之通ニ御座候也

右地主

誰印

何

誰印

何

誰印

長官宛

何郡

村

第四號 開墾地年期明成功ニ付上申

字何々

第何番

元林反別何程

此地價金何程

明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年期明

持主

何等

何

誰印

一田反別何程

内反別何程

丈量増

此地價金何程

但反金何程

字何々

第何番

○元竹藪反別何程

○此地價金何程

一畑反別何程

内反別何程

此地價金何程

字何々

第何番

○元芝地反別何程

○此地價金何程

一田反別何程

外反別何程

此地價金何程

○以下倣之

○元反別何程

○此地價金何程

合反別何程

○明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年期明

持主

○何等

何

誰印

丈量増

但反金何程

○明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年期明

持主

○何等

何

誰印

丈量減

但反金何程

○以下倣之

○元反別何程

○此地價金何程

合反別何程

内反別何程

丈量増

外反別何程

丈量減

此地價金何程

内譯

○元反別何程

○此地價金何程

田反別何程

内反別何程

丈量増

外反別何程

丈量減

此地價金何程

内

○元林反別何程

○此地價金何程

反別何程

内反別何程

丈量増

此地價金何程

○元芝地反別何程

○此地價金何程

○明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年期明

○明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年期明

第十一類

十五

反別何程

丈量減

外反別何程

此地價金何程

明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年期明

元竹籬反別何程

丈量増

此地價金何程

右者當明治何年開墾鐵下年期明成功相成候ニ付一筆限リ實地丈量之上近傍類地ニ比較シ地位等級及ヒ地價金取調候處書面之通相違無之候間右修正地價金額ヲ以テ地租御徴收被成下度別紙圖面相添此段上申仕候也

右地主

何 誰印

何 誰印

戸長

何 誰印

年 月 日

長 官 宛

第五號 水害損地免租之儀ニ付上申

何 郡

村

字何々

第何番

一田反別何程

何等

川欠

持 何 主

誰印

此地價金何程

但反金何程

但當明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年期起返ノ見込

字何々

第何番

一畑反別何程

何等

山崩

持 何 主

誰印

此地價金何程

但反金何程

但當明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年期起返ノ見込

字何々

第何番

田反別何程

何等

押堀

持 何 主

誰印

此地價金何程

但反金何程

但當明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年期起返ノ見込

字何々

第何番
一畑反別何程
此地價金何程
但前同年期
以下倣之
合反別何程
此地價金何程
內譯
田反別何程
此地價金何程
內
反別何程
此地價金何程
反別何程
此地價金何程
畑反別何程
此地價金何程
內

持主
石砂入
同
但反金何程
八印

內譯年期限リ記載方田ニ同シ
右者本年何月何日大雨洪水之節水害ニ罹リ候箇所一筆限リ取調候處書面之通ニ有之候
間前記年期中免租之儀御聽許被成下度別紙繪圖面相添此段上申仕候也

年 月 日
右地主
何 誰印
何 誰印
戶長 誰印

山崩川欠
明治何年ヨリ何年迄何ヶ年期
押堀
明治何年ヨリ何年迄何ヶ年期

第六號 荒地年期明起返ニ付上申
長官宛
字何々
第何番
一田反別何程
此地價金何程
但明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年期明
字何々
第何番

持主
何郡
何主
何主
誰印
誰印

持主
誰印

一畑反別何程
此地價金何程
但明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年期明
字何々
第何番
一畑反別何程
此地價金何程
但明治何年ヨリ何年迄何ヶ年期明
字何々
第何番
一畑反別何程
此地價金何程
但前同年期
以下倣之
合反別何程
此地價金何程
田反別何程
内
此地價金何程
反別何程
此地價金何程
反別何程
此地價金何程
畑反別何程
此地價金何程
内
内譯記載方田ニ同シ
右者當明治何年荒地免租年期明原地位之通起返相成候分一筆限リ實地丈量候處書面之
通相違無之候間書面地價金額ヲ以テ地租御徴收被成下度別紙繪圖面相添此段上申仕候
也

何等 何 誰印
持 主 誰印
何等 何 誰印
但反金何程
持 主 入印
何等 同 入印
但反金何程

此地價金何程
反別何程
此地價金何程
反別何程
此地價金何程
畑反別何程
此地價金何程
内
内
此地價金何程
反別何程
此地價金何程
反別何程
此地價金何程
畑反別何程
此地價金何程
内
内譯記載方田ニ同シ
右者當明治何年荒地免租年期明原地位之通起返相成候分一筆限リ實地丈量候處書面之
通相違無之候間書面地價金額ヲ以テ地租御徴收被成下度別紙繪圖面相添此段上申仕候
也

右地主 誰印
何 誰印
何 誰印
戶長 誰印
年 月 日
第十一類

第七號 地租改正以前ニ係ル荒地年期明起返ニ付上申
字何々

何郡

第何番

何主

村

元反別何程

何等

持何主

誰印

一田反別何程

丈量増

内反別何程

但反金何程

此地價金何程

字何々

第何番

持主

人印

元反別何程

何等

一田反別何程

丈量減

外反別何程

但反金何程

此地價金何程

字何々

第何番

元反別何程

持主

一畑反別何程

何等

持何主

誰印

内反別何程

丈量増

此地價金何程

但反金何程

但明治何年ヨリ同何年迄何ケ年期明

字何々

第何番

持主

誰印

元反別何程

何等

一畑反別何程

丈量増

内反別何程

但反金何程

此地價金何程

但前同年期

元反別何程

合反別何程

内反別何程

丈量増

外反別何程

丈量減

此地價金何程

以下做之

第 十 一 組

内譯

元反別何程

田反別何程

内反別何程

外反別何程

此地價金何程

元反別何程

畑反別何程

内反別何程

此地價金何程

年期ノ異ナルモノハ内譯ニスヘシ

右者地租改正以前之荒地當何年期明起返相成候ニ付一筆限リ實地丈量之上近傍類地ニ比較シ地價金取調候處書面之通相違無之候間右地價金額ヲ以地租御徴收被成下度別紙圖面相添此段上申仕候也

年 月 日

長 官 宛

右地主 誰印
何地主 誰印
戸何長 誰印

第八號 荒地年期明未起返ニ付繼年期取調上申

何 郡

字何々

第何番

一田反別何程

此地價金何程

但明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年期明之處未起返ニ付當何年ヨリ何年迄何ヶ年期繼

字何々

第何番

一田反別何程

此地價金何程

但前同年期

字何々

第何番

一田反別何程

此地價金何程

但明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年期明之處未起返ニ付當何年ヨリ何年迄何ヶ年期繼
以下倣之

第十一類

廿五

合反別何程

此地價金何程

內 譯

田反別何程

此地價金何程

丙

反別何程

此地價金何程

反別何程

此地價金何程

。畑以下地目限リ記載方倣之

右者當何年荒地免租年期明ノ處何々(未起返ノ事由ヲ詳記スヘシ)ニテ起返不相成候ニ付一筆限リ起返繼年期見込取調候處書面之通ニ候間右繼年期之儀御聽許被成下度別紙繪圖面相添此段上申仕候也

年 月 日

右地主

何 誰 印

何 誰 印

戸長

何 誰 印

長 官 宛

第九號 荒地年期明原地價ニ復シ難キニ付低價年期取調上申

何 郡

字何々

何 村

第何番

。元反別何程

此地價金何程

。何等

持 主

一田反別何程

此地價金何程

但何割低價

何 誰 印

但反金何程

但明治何年ヨリ同何年迄何々年期明之處原地價ニ復シ難キニ付當何年ヨリ何年迄何々年期ヲ以原地價ニ復スヘキ見込

字何々

第何番

。元反別何程

此地價金何程

。何等

持 主

一田反別何程

此地價金何程

但何割低價

何 誰 印

第十一類

廿七

但反金何程
但明治何年ヨリ同何年迄何ケ年期明之處原地價ニ復シ難キニ付
當何年ヨリ何年迄何ケ年期ヲ以原地價ニ復スヘキ見込
字何々

第何番

元反別何程

何等

持主

誰印

此地價金何程

一田反別何程

但何割低價

此地價金何程

但反金何程

但前同斷

以下倣之

元反別何程

此地價金何程

合反別何程

此地價金何程

内譯

元反別何程

此地價金何程

田反別何程

此地價金何程

内

元反別何程

此地價金何程

反別何程

此地價金何程

元反別何程

此地價金何程

反別何程

此地價金何程

畑倣之

右者當何年期明荒地起返相成候處何々(元地位ニ復シ難キ事由ヲ詳記スヘシ)ニテ原地
價ニ復シ難キニ付實地相當ノ低價取調候處前記之通相違無之候間書面年期中低價ヲ以
地租御徴收被成下度別紙繪圖面相添此段上申仕候也

右地主

何 誰印
何 誰印

年 月 日

第十一類

廿九

長官宛

戸長 誰印

三十

第十號 荒地年期明地目變換起返ニ付取調上申

字何々

第何番

元田反別何程

此地價金何程

一畑反別何程

內反別何程

此地價金何程

但明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年期明

字何々

第何番

元畑反別何程

此地價金何程

一田反別何程

何郡 何村

何等 持主

何等 何 誰印

但反金何程

何等

何等 持主 誰印

丈量減

但反金何程

外反別何程 此地價金何程

但明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年期明

以下倣之

元反別何程

此地價金何程

合反別何程

內反別何程

外反別何程

此地價金何程

內譯

元畑反別何程

此地價金何程

田反別何程

外反別何程

此地價金何程

元田反別何程

此地價金何程

丈量減

明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年期明

畑反別何程

内反別何程

丈量増

明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年期明

此地價金何程

以下各地目限リ倣之年期ノ異ナルモノハ内譯ニスヘシ

右當明治何年荒地期明地目變換起返相成候ニ付一筆限實地丈量之上近傍類地ニ比較現地相當ノ地位等級取調候處書面之通相違無之候間右地價金ヲ以地租御徵收被成下度此段上申仕候也

右地主

何

誰印

年月日

戸

長

誰印

何

誰印

長官宛

第十一號 地租改正以前荒地年期明假地價ヲ以低價年期取調上申

字何々

何郡

第何番

何

村

元反別何程

何等

此假地價金何程

但反金何程

持

主

一田反別何程

内反別何程

丈量増

何

誰印

此地價金何程

但何割低價

但明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年期明之處未ダ地味充分ナラサルニ付當何年ヨリ何年迄何ヶ年期ヲ以假地價ニ復スヘキ見込

字何々

第何番

元反別何程

何等

此假地價金何程

但反金何程

持

主

一畑反別何程

内反別何程

丈量増

何

誰印

此地價金何程

但何割低價

但前同年期

以下倣之

元反別何程

此假地價金何程

合反別何程

内反別何程

丈量増

此地價金何程

内譯

元反別何程

此假地價金何程

明治何年ヨリ同何年迄何ケ年期明

田反別何程

内反別何程

丈量増

明治何年ヨリ同何年迄何ケ年期

此地價金何程

但何割低價

元反別何程

此假地價金何程

右同年期明

畑反別何程

内反別何程

丈量増

右何年期

此地價金何程

但何割低價

年期及ヒ低價歩合ノ異ナルモノハ内譯ニスヘシ

右者當何年地租改正以前之荒地年期明起返相成候ニ付實地丈量之上近傍類地ニ比較地位等級取調候處何々(實況ヲ詳記スヘシ)ニテ作土未タ充分ナラサルニ付書面年期中假地價ニヨリ低價ヲ以テ地租御徵收御聽許被成下度然ル上ハ右年期明ニ至リ更ニ相當ノ地價取調上申可仕候依テ別紙繪圖面相添此段上申仕候也

右地主

年 月 日

戸 長

何 誰 印

何 誰 印

何 誰 印

長 官 宛

第十二號 荒地年期明地目變換之分假地價ヲ以低價年期取調上申

字何々 何 郡

第何番 何 村

元田反別何程

何等

此地價金何程 但反金何程

此假地價金何程

持 主

一畑成反別何程

内反別何程

丈量増

何 誰 印

此地價金何程

但何割低價

但明治何年ヨリ同何年迄何ケ年期明ノ處地味充分ナラサルニ付

當何年ヨリ何年迄何ケ年期ヲ以假地價ニ復スヘキ見込

字何々

第何番

第十一類

元畑反別何程

此地價金何程

此假地價金何程

何等

但反金何程

持主

一田成反別何程

外反別何程

丈量減

何主

誰印

此地價金何程

但前同期

但何割低價

以下倣之

元反別何程

此地價金何程

此假地價金何程

合反別何程

內反別何程

丈量增

外反別何程

丈量減

此地價金何程

內譯

元畑反別何程

此地價金何程

此仮地價金何程

田反別何程

明治何年ヨリ同何年迄何ケ年期明

外反別何程

丈量減

明治何年ヨリ同何年迄何ケ年期

此地價金何程

但何割低價

元田反別何程

此地價金何程

此仮地價金何程

右同期明

畑反別何程

右同期

內反別何程

丈量增

此地價金何程

但何割低價

年期及ヒ低價歩合ノ異ナルモノハ内譯ニスヘシ

右者當何年荒地年期明地目變換起返相成候ニ付實地丈量之上近傍類地ニ比較地位等級取調候處何々(實況ヲ詳記スヘシ)ニテ作土未タ充分ナラサルニ付書面年期中假地價ニヨリ低價ヲ以地租御徵收御聽許被成下度然ル上ハ右年期明ニ至リ更ニ相當ノ地價取調上申可仕候依テ別紙繪圖面相添此段上申仕候也

右地主

何 誰印

年 月 日

戸 何 誰 印
何 長 誰 印

卅八

長 官 宛

第十三號 低價年期明原地價ニ復セン分取調上申
字何々

第何番

何 郡 村

○低價地價金何程

○但何割低價

持 主

一田反別何程

○何等

何

誰 印

此地價金何程

但反金何程

但明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年期明

字何々

第何番

○低價地價金何程

○但何割何步低價

持 主

一田反別何程

○何等

何

誰 印

此地價金何程

但反金何程

但明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年期明

○以下倣之

○低價地價金何程

合反別何程

此地價金何程

内 譯

○低價地價金何程

田反別何程

此地價金何程

内

○低價地價金何程

反別何程

此地價金何程

明治何年ヨリ何年迄何ヶ年期明

但何割低價

○低價地價金何程

反別何程

此地價金何程

明治何年ヨリ何年迄何ヶ年期明

但何割何步低價

○以下地目限」倣之

右者當何年低價年期明原地價ニ復セン分一筆限リ取調候處書面之迪相違無之候間右地
價金ヲ以地租御徴收被成下度別紙繪圖面相添此段上申仕候也

第十一類

卅九

年 月 日

右地主

四十

何

誰印

何

誰印

何

誰印

長官宛

第十四號 低價年期明尙原地價ニ復シ難キニ付現地價取調上申

何郡

村

字何々

第何番

元反別何程

元何等

此原地價金何程

但何割低價

持主

一田反別何程

何等

何

誰印

此地價金何程

但明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年期明

但反金何程

字何々

第何番

元反別何程

元何等

此原地價金何程

但何割低價

持主

一田反別何程

何等

何

誰印

此地價金何程

但明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年期明

但反金何程

以下倣之

元反別何程

此原地價金何程

此減地價金何程

合反別何程

此地價金何程

內譯

元反別何程

此原地價金何程

此減地價金何程

田反別何程

此地價金何程

第十一類

四一

内

元反別何程

此原地價金何程

此減地價金何程

反別何程

此地價金何程

元反別何程

此原地價金何程

此減地價金何程

反別何程

此地價金何程

以下地目限リ記載方倣之

右者當何年低價年期明ノ處何々(原地價ニ復シ難キ事由ヲ詳記スヘシ)ニテ原地位ニ復シ難キニ付一筆限リ近傍類地ニ比較シ更ニ現地相當ノ地位等級取調候處書面之通相違無之候間右更正地價金ヲ以テ地租御徴收被成下度別紙繪圖面相添此段上申仕候也

右地主

何 誰印
何 誰印

年 月 日

戸 長

何 誰印

長 官 宛

第十五號 道路(修繕新築)ニ付償地ニ係ル地租免除ノ儀上申

第十六條ニヨリ免租ヲ請フ
トキハ摺テ此書式ニ倣フ

何 郡 村

字何々

第何番

一田反別何程

此地價金何程

字何々

第何番

畑反別何程

此地價金何程ノ内

一畑反別何程

此地價金何程

字何々

但何割低價

明治何年ヨリ同何年迄何ケ年期明

但何割低價

明治何年ヨリ同何年迄何ケ年期明

持 主

何等 何 誰印

但反金何程

持 主

何等 何 誰印

但反金何程

第何番

田反別何程

此地價金何程ノ内

一田反別何程

此地價金何程

字何々

第何番

一畑反別何程

此地價金何程

。以下倣之

谷反別何程

此地價金何程

内譯

田反別何程

此地價金何程

畑反別何程

此地價金何程

右者何村地内何往還(或ハ里道)(修繕新築)之儀出願仕候處何年何月御許可相成候ニ付

實地反別一筆限リ取調候處書面之通相違無之候間潰地ニ係ル地租御免除被成下度別紙繪圖面相添此段上申仕候也

年 月 日

右地主

何 誰印

何 誰印

戸長

何 誰印

長官宛

第十七號 何々地有租地へ御組込之儀ニ付上申

第十七條ニヨリ有租地トナサントスルトキハ摠テ此書式ニ倣フ

何 郡

村

字何々

第何番

一田反別何程

此地價金何程

此地租金何程

字何々

持主

。何等 何 誰印

但反金何程

第何番

一畑反別何程

何等

持主

誰印

此地價金何程

但反金何程

此地租金何程

字何々

第何番

何等

持主

誰印

一田反別何程

此地價金何程

此地租金何程

合反別何程

此地價金何程

此地租金何程

内譯

田反別何程

此地價金何程

此地租金何程

畑反別何程

此地價金何程

此地租金何程

右者何々(官有地拂下等其事由ヲ記スヘシ)ノ儀出願仕候處何年月御許可相成候ニ付
一筆限リ實地丈量之上近傍類地ニ比較シ地位等級取調候處書面之通相違無之候間右地
價金ヲ以テ地租御徴收被成下度別紙繪圖面相添此段上申仕候也

右地主

何 誰印

年 月 日

戸長

何 誰印

長官宛

(繪圖面畧ス)

預り米取扱手續

○甲第七拾五號 明治十八年 十月二十日
明治十六年 十一月 本縣甲第五拾九號布達預り米手續左ノ通改正ス

預り米取扱手續

- 第一條 預り米ハ地租第三四五六納期ニ於テ各其半額迄ヲ納金抵當トシテ該町村ノ上米ヲ預ルモノトス但代米納テ許可スルトキハ其員額ニ對スル分ハ預り米ヲ許可セス
- 第二條 預り米ハ十一月二十日迄ニ願出タルモノニ限り許可スヘシ
- 第三條 預り米ヲ許可スルハ地租改正ニ用ヒタル米價ヨリ時々下落ノ時ニ限ルヘシ
- 第四條 時價ハ從前賣納石代相場ニ用ヒタル相場立ノ箇所ニ於テ該年十月十二日ヨリ十一月十日迄ノ間其地上米ノ平均相場ヲ用フヘシ
- 第五條 預り米ハ前條ニ掲ケタル相場ヲ以テ計出シ得ル所ノ米額ニ壹割ヲ加ヘタルモノヲ藏置スヘシ
- 第六條 俵拵並ニ俵入等ハ渾テ代米納同様タルヘシ但合米ハ加フルニ及ハス
- 第七條 預り米ヲ藏置スヘキ場所ハ郡役所ニ於テ適宜指定シテ之レヲ收稅長ニ届出ヘシ但藏置看守人給料其他一切ノ費用ハ預ケ主ノ負擔トス
- 第八條 藏入期限ハ十二月十五日限ト定メ郡吏戶長預ケ主(惣代一名)立會封印スヘシ但郡吏ハ適宜巡村シ日割ヲ定メ豫メ之ヲ通告シ必ス期限内ニ完了スヘシ
- 第九條 預り米換金期限ハ左ニ記載セル三期トス此期日迄ニ納金セサルトキハ郡吏戶長立會其期ニ當ル預り米ヲ競賣スヘシ

第三期預り米 三月十五日限
第四期預り米 四月二十日限
第五期預り米 五月十五日限
第六期預り米 五月十五日限

- 第十條 前條競賣代金稅額ニ充タサルトキハ直チニ其不足金ヲ徵收ス若シ納メサルトキハ一般ノ租稅不納處分規則ニ據リ處分スヘシ
- 第十一條 預ケ主ニ於テ預り米ヲ賣却センコトヲ請フモノアルトキハ其時々之レヲ許可シ各立會賣却ノ上其代金ハ直チニ收入シ藏出セシムヘシ
- 第十二條 預り中水火盜難又ハ欠減等ニ罹リ損失ヲ生スルコアルモ預ケ主ニ於テ補償ノ責ニ任スヘシ
- 第十三條 預り米アル地所他ノ事故ニ依リ公賣ノ處分ニ係ルトキハ其預り米アルニ拘ハラズ當期ノ稅金ヲ完納セシムヘシ但此場合ニ於テハ預り米ヲ還付スヘシ
- 第十四條 許可シタル預り米ノ員額及金額ハ各郡役所ニ於テ取調十二月十日限收稅長ニ届出ヘシ

右布達候事

三 酒造營業人心得書

○甲第五拾五號 明治十七年 九月二十日
明治十三年甲第百七拾九號布達酒造營業人心得書別冊之通改正ス
右布達候事

酒造營業人心得書

第一項 酒造營業ヲ爲サントスルモノハ酒造稅則ヲ遵守シ左ノ條項ニ從フヘシ
第二項 新ニ營業ヲ爲サントスルモノハ第一號書式ニ倣ヒ管應ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

但免許鑑札ハ酒造場一ヶ所毎ニ之ヲ受クヘシ

第三項 酒造場ハ建物ノ棟數ト製酒ノ種類トヲ問ハス都テ其一區域ヲ以テ一个所トスヘシ

但一區域外ノ倉庫建物ト雖モ檢査濟ノ酒類又ハ酒造用諸器械ヲ藏置スルニ止ルモノハ酒造場ノ附屬トスルコトヲ得ヘシ

第四項 免許鑑札ハ一期有効ノモノトス故ニ引續キ營業ヲ爲サントスルモノハ翌期十月一日迄ニ第二號書式ニ倣ヒ鑑札相添ヘ願出ヘシ

但期限ヲ過キ願出ルモノハ第二項ニ準據スヘシ
第五項 二人以上資力ヲ合シ組合營業ヲ爲サントスルモノハ其組合員ノ連名ヲ以テ願出テ會社ヲ設ケ營業ヲ爲スモノハ頭取ノ名ヲ以テ願出ヘシ

第六項 免許鑑札賣買讓與ノ節甲乙兩管應ニ交渉スルトキハ双方連署ノ書面ヘ免許鑑札ヲ添ヘ甲管應(賣渡讓渡人)酒造場所在ノ管應(買受讓受人)酒造場所在ノ管應(願出)ニ願出ヘシ

第七項 酒造場ヲ轉換スルトキハ稅則第七條ニ準據シ鑑札書換ヲ請フヘシ若シ兩管應

ニ交渉スルトキハ前項ノ手續ニ從フヘシ

第八項 廢業ノ節ハ速ニ届出免許鑑札ヲ返納スヘシ

第九項 營業免許ヲ受ケタルモノハ稅則第廿六條及第廿七條ニヨリ一期造酒見込ノ種目石數造リ方法諸器械トモ第三號ヨリ第五號迄ノ書式ニ倣ヒ酒造場ノ建物ハ一ヶ所毎ニ其實況詳細ノ圖面并調書ヲ調製シ免許ノ後五日限リ届出ヘシ

第十項 前項届出ノ后増減又ハ變換アルトキハ其時々届出ヘシ尤見込石高ノ増減ハ第六號書式ニ倣ヒ調製スヘシ

第十一項 稅則第十八條造石稅免除ノ酒類ト雖モ一期造酒見込ノ種目石數ハ免許後五日限リ届出ヘシ

但造リ方法ハ免許願書ニ添ヘ差出シ變換ハ其時々届出ヘシ

第十二項 第九項造酒ノ種目トハ清酒濁酒燒酎酒精再溜酒精白酒味淋銘酒ト其種目毎ニ掲記スル義ト心得ヘシ

但銘酒中直シ酒保命酒桑酒養老酒菊酒紫蘇酒あられ酒南蠻酒等各其酒名アルモノハ分記スヘシ

第十三項 戶外ニ掲出スヘキ標札ハ左ノ雛形ニ倣ヒ酒造場一个所毎ニ調製シ該期製造見込ノ種目石數ヲ記載スヘシ其石數ヲ増減シ種目ヲ變換シタルトキハ其時々紙札ヲ貼付シ之ヲ更正スヘシ

但製造石高悉皆檢査濟ノ上ハ其石數ニ更正スヘシ

免許鑑札番號

五二

第何號
 清酒 何石造
 白酒 何石造
 何府郡町
 何縣區村
 香地
 某

寸法 堅市曲尺三尺横巾ハ酒類ノ數
 ニヨリ適宜
 番號ハ免許鑑札ノ番號ヲ記スヘシ
 酢元用酒類ハ酢元用ノ三字ヲ冠テ
 シ銘酒ハ其酒名ヲ一々列記スヘシ

第十四項 醱膠仕込桶遣ヒノ順序及仕込桶遣ヒノ順號ハ第七號書式ニ倣ヒ着手以前差
 出スヘシ尤變換アルトキハ其時々届出ヘシ

但清酒外ノ酒類モ本項ニ準據スヘシ

第十五項 酒桶鑿類ハ新製修繕チ間ハス左ノ方法ニヨリ容量取調第八號書式ニ倣ヒ速
 ニ檢査願出ヘシ

但鑿類ノ本項ニ準據シ難キモノハ便宜適實(水ヲ量リ入レ其容量ヲ知ルノ類)ニ取
 調フ可シ

酒造桶側面掲記法

番號 何程
 口徑 何程

胴徑 何程
 底徑 何程
 深サ 何程
 石數 何程

調查年月日

檢査員官姓名

酒造桶丈量法

口徑(口頭ヨリ一寸下リタル箇所)胴徑(口底徑ノ中央)底徑(底板面ノ箇所)孰レモ内
 測リニテ縱横(十)圖ノ如ク度リ此縱横徑ヲ和シ之ヲ二ニテ除シ以テ定ム深サハ其酒
 桶ノ前後左右中心等孰レモ底面ヨリ口徑迄ノ間ヲ丈量シ之ヲ和シ五ニテ除シ以テ定
 ムヘシ

但尺度ハ孰レモ曲尺ヲ用ヒ分位ニ止メ厘以下切捨ツヘシ

算則

口徑ト胴徑ノ和ヲ自乘シ甲トス

胴徑ト底徑ノ和ヲ自乘シ乙トス

口徑ト底徑ノ和ハ胴徑ヲ乘シ丙トス

甲乙ノ和ヨリ丙ヲ減シ殘數ニ深サ及〇・〇四〇三八四四(乘率ノ一位ヲ石位トシ丈量
 尺度ハ分位ニ止メ尺位ヲ一位トス)ヲ乘シ之ヲ二ニテ除シ其容量ヲ得ル

第十一類

五三

但石數ハ合位ニ止メ以下切捨ツヘシ

第十六項 桶甕類ノ番號ハ酒造場一ヶ所毎ニ起號シ桶甕ノ數ニ應ジテ其順次ヲ定ムヘシ
ノ尤其他ノ諸器械ハ番號ヲ附スルニ及ハスト雖モ管廳ノ烙印ヲ捺シ得ラルヘキモノ
ハ之ニ烙印ヲ受クヘシ

但甕類ノ番號石數等ハ木札ニ書載シ之ヲ正面ニ附シ置クヘシ

第十七項 粕桶水桶水浸桶ノ類ニシテ全ク酒類ヲ容レサルモノハ丈量ニ及ハスト雖モ
番號ハ桶甕類ノ順號ヲ逐ヒ記載スヘシ

但酒造場内ニ於テ酒類ヲ容ルハ桶甕類ハ都テ丈量ノ檢査ヲ受クヘシ

第十八項 桶甕類ハ調査簿甲乙二帳ヲ製シ甲帳ハ管廳ニ供ヘ乙帳ハ營業者ニ下附シ置
キ増減ノ都度檢査員ニ於テ之ヲ加除スルヲ以テ營業人ハ之レニ調印スヘシ

第十九項 調査簿ノ桶甕類及諸器械ヲ賣買讓與貸借又ハ返却スルトキハ桶甕類ハ其番號
他ノ器械ハ其品目員數等ヲ記載シ双方連署ノ書面ヲ以テ其旨申出テ番號及帳簿等ノ
訂正ヲ受ケタル后之ヲ授受スヘシ

但解破スルモノハ其時々届出ヘク尤酒造着手後ナレハ造石稅完納濟ノ旨ヲ記載ス
ヘシ

第二十項 造酒(搾リ蒸溜)器械ニ封緘ヲ受ケタルトキハ第九號書式ノ請書ニ調印スヘ
シ

第二十一條 封緘セン器械ヲ使用又ハ洗滌修繕スルトキハ日數ヲ豫定シ其旨申出解封ヲ
請フヘシ

請フヘシ

第廿二項 解封又ハ封緘ヲ受ケタルトキハ其都度請書ニ年月日并日數等記入調印スヘ
シ

第廿三項 器械封緘中賣與讓與貸與又ハ返却解破等ヲナストキハ第十九項手續ニ據リ
届出解封ヲ請フヘシ

第廿四項 造酒季節中ハ管内ヲ區畫シ派出所ヲ設ケ檢査員ヲ派遣スヘキニ付營業免許
願及營業届ヲ除シノ外都テ酒造ニ關スル願届等ハ該所ニ差出スヘシ尤區畫及派出所
ノ地名ハ其都度告示スヘシ

但檢査員派遣前又ハ引拂後ニ係ルモノハ管廳ニ差出スヘシ

第廿五項 醗立并醗仕込又ハ蒸溜等當期最初ノ着手期日ハ前以テ届出ヘシ

第廿六項 酒醗(燒酎)元粕味淋ノ元燒酎ノ類トモ)及醗ハ熟成ノ期日ヲ豫定シ前以テ
申出檢査ヲ受クヘシ

但檢査以前ニ於テハ酒醗ヲ使用シ醗ヲ搾リ揚ケル等ノ事アル可カラス

第廿七項 醗ハ一ト仕舞毎ニ分界ヲ爲シ搾リ揚ケ清酒ノ檢査ヲ受クヘシ若シ仕舞數ヲ
合シテ搾ラントスルトキハ豫メ其旨申出テ檢査員ノ指示若シハ承認ヲ受クヘシ

第廿八項 製酒ハ搾リ揚ケノ當日ニ至リ第十號書式ニ倣ヒ必ラズ申出テ檢査ヲ受クヘ
シ尤檢査員臨時出張ノ場合ニ於テ若シ申出テ怠リタルモノト視認ルトキハ其事由ヲ
告ケ直チニ檢査スルモノトス

トスルトキハ前以テ其旨届出ヘシ

第三十八項 營業上ノ都合ニヨリ未製成ノ酒類ヲ販賣セントスルトキハ其旨申出テ檢査ヲ受ケ稅則第二條ノ類別ニヨリ造石稅ヲ納ムヘシ

但シ賣買同業者ニ係ルトキハ双方連署ノ書面ヲ以テ届出テ檢査ヲ受ケ其造石稅ハ買受者ニ於テ納ムヘシ

第三十九項 造石稅納期以前免許鑑札ヲ賣與讓與シ又ハ廢業セントスルモノハ檢査濟酒類ニ係ル造石稅ハ其節一時ニ之ヲ完納スヘシ

但シ未製成ノ酒類ヲ營業者ニアラサル者ハ賣渡ス場合ニ於テハ本項ニ準スヘシ

第四十項 檢査濟ノ酒類并買入酒等ヲ粕漉ニセントスルトキハ前以テ申出テ檢査ヲ受ケ尙製成ノ上更ニ檢査ヲ受クヘシ

但シ製成ノ上原石數ヨリ超過シタルトキハ其増石數ニ係ル造石稅ヲ納ムヘシ

第四十一項 買入酒類ヲ變換セントスルトキハ其種目石數及變製方法等ヲ詳記シ前以テ申出テ檢査濟ノ后着手スヘシ尤變製ノ上ハ更ニ檢査ヲ受ケ其石數ニ係ル造石稅ヲ納ムヘシ

第四十二項 稅則第十六條非常ノ損害ニ罹ル酒類アル場合ニ於テハ其實況ヲ詳記シ速ニ申出テ檢査ヲ請フヘシ

第四十三項 前項檢査ノ上其再製シ得ヘキモノハ第四十一項ノ手續ニヨリ申出ヘシ其再製シ得サル者及廢棄セントスル者ハ其旨ヲ詳記シタル書面ヲ差出スヘシ

但シ本項末段ノ酒類ヲ酢元等ニ販賣セントスルトキハ其所用ヲ明記シ買主連署ノ上届出スヘシ

第四十四項 稅則第十八條造石稅免除ノ酒類ハ造石檢査ヲ受クルニ及ハスト雖モ檢査員隨時出張點檢スルアルヘシ

但シ一期中製造シタル種目石數ハ翌期十月十日限り届出ヘシ

第四十五項 十六年第四十二號公布第三項ニ據リ届出ヘキ製酢ハ製成ノ上直ニ届出ヘシ

但シ本項ノ製酢ハ勿論他ノ種類ヲ以テ製造シタル酢ト雖モ檢査員隨時出張點檢スルコトアルヘシ

第四十六項 營業人ハ左ニ掲クル帳簿ヲ調製シ其時々遺漏ナク記入シ造酒檢査ノ際參照ニ供スヘシ

但シ左記ノ外酒造一般ニ關スル諸帳簿ハ便宜調製スヘシ

第一 酒造米元帳
此帳簿ニハ蒸麴ニスヘキ白米ノ洗滌及杜氏雇人ハ飯米等受渡ノ際ニ於テ其石數及年月日ヲ記入スルモノトス但書式ハ第十一號雛形ニ倣フヘシ

第二 仕込帳
此帳簿ニハ酒醎ハ蒸米麴米汲水醪仕込ハ醎ノ米水及添中留ノ蒸米麴米汲水等仕込順號ヲ逐ヒ其石數及年月日ヲ記入スルモノトス但書式ハ第十二號雛形ニ倣フ

第三 蒸溜帳

此帳簿ニハ燒酎及酒精等蒸溜ノ際釜數及元粕ノ斤量(貫數以下之レニ倣フ)酒類ノ石數ヲ記入スルモノトス但書式ハ第十三號雛形ニ倣フヘシ

第四 酒粕目方帳

此帳簿ニハ每一回搾リ揚ケノ斤量ヲ記載シ賣買ハ斤量及年月日住所氏名トモ記入スルモノトス但書式ハ第十四號雛形ニ倣フヘシ

第五 酒藏出帳

此帳簿ニハ古酒買入酒及新酒等卸小賣ハ勿論自家用料共日々倉庫ヨリ出高及年月日ヲ記入スルモノトス但書式ハ第十五號雛形ニ倣フヘシ

第六 酒賣上帳

此帳簿ニハ卸賣ハ其石數代金及年月日買入ノ住所氏名現金賣ハ其石數代金ヲ日計シ記入スルモノトス尤貸買ニ係ルモノハ口分ケ又ハ別帳ヲ製シ之レニ準シ記入スヘシ

第四十七項 酢元用酒類製造者ハ前項第二任込帳ノ外酢造任込帳ヲ調製スヘシ尤他ヨ

リ買入タル酒粕及他ノ種類ヲ以テ製造スルトキハ彼是混同セサル様各別ニ記載スヘシ

第四十八項 營業上代理者ヲ置クトキハ酒造ニ關スル一切ノ事ヲ熟知シタル者ヲ撰定

シ委任狀寫ヲ添ヘ双方連署ノ書面ヲ作り届出ヘシ

但幼少其他事故アリテ後見人ヲ置クトキハ委任狀ヲ附與スルノ限リニ非スト雖モ

後見人ニ事故アリテ代人ヲ置クトキハ後見人ヨリ本項ニ據リ委任狀ヲ附與スヘシ

且代理者ハ先キニ酒造税ニ關シ公賣處分ヲ受ケ税金官損ニ歸シタル者ハ代人ト爲スコトヲ得ス

第四十九項 検査員ハ検査印章ヲ携帶スヘキニ付請求ニヨリテハ之ヲ示スヘシ

第五十項 酒酏ハ検査済ト否トチ問ハス醪及清酒ハ検査未滿ノモノヘ左記ノ紙札ヲ貼

付シ又ハ白字ヲ以テ桶側面ヘ記載スヘシ

第一 酒酏ハ坪臺桶ニ移シタルトキ其坪臺桶ニ新立ノ順號及月日ヲ一個毎ニ掲載スヘシ

第何號
何月何日

第二 醪仕込ノ際枝桶ヲ使用スルトキハ添中留ニ拘ハラヌ其枝桶ニハ甲號ノ通記

載シ仕込済即チ口打セルモノハ乙號ノ通り記載スヘシ

甲 號	第何號仕込	乙 號	第何號仕込 何月何日留
--------	-------	--------	----------------

第三 清酒ハ一ト槽搾リ揚ケタル度毎ニ其搾リタル醪ノ仕込順號ヲ記載スヘシ

清酒	第何號搾リ 第何號
----	--------------

第四 酢元用酒類製造者ニシテ其酒類ヲ以テ酢ヲ製造シタルトキハ甲號ノ通記載
シ酒粕其他ノ種類ヲ以テ酢ヲ製造シタルトキハ乙號ノ通記載ニ區別判然タラシ
ムヘシ

甲 號	第何號何月何日留 酒類元製酢	乙 號	第何號何月何日造 酒粕 其他種類元製酢
--------	-------------------	--------	---------------------------

第五十一項 検査済ノ酒甑數個ナ一ト桶ヘ合併シ其幾分ヲ漸次使用スルモノハ其殘石
數ヲ判然ナラシメシメシ爲メ甑何個何分何厘ト記載シタル紙札ヲ桶側面ヘ貼付スヘシ
第五拾貳項 自家用料ノ酒類ヲ製造スルモノハ釀成ノ都度第十六號書式ニ倣ヒ該石數
届出ヘシ

但酒モト掛米麴ノ石數及汲水數量等ハ適宜帳簿ヲ製シ仕込ノ都度詳記致シ置検査
員出張ノ節差出シ検査ヲ受クヘシ

第五十三項 自家用料ノ酒類ヲ製造スルモノハ其製造ニ使用スル桶瓶類ヲ丈量シ每箇
ニ石數ヲ掲ケ置クヘシ

(第壹號雛形)

新規酒造營業御免許願

國郡區町村番地
酒造場

一何酒何程製造見込
右酒造場ニ於テ明治何年度酒造營業仕度候間免許鑑札御下渡被下度全業者連署此段相
願候也

年 月 日

第十一類

國郡區町村番地(寄留)
(原籍府縣國郡町村番地)
願人 何 誰 印

國郡區町村番地

酒造營業人

何

某印

以下全業者連署前ニ做フ

區戶長與印ハ例規ノ通

府知事 何 某 殿

縣令 何 某 殿

一 與印ヲ受クヘキ區戶長ハ酒造場所所在ノ區戶戸タルヘシ

一 酢元用酒類并葡萄酒麥酒ヲ製造スルモノハ文例中酢元用何酒又ハ葡萄酒ト記載ス

ヘシ以下之レニ做フ

(第二號雜形)

引續酒造營業御免許願

國郡區町村番地

酒

造

場

番號

一 酒類製造營業免許鑑札

一 何酒何程 明治十五年第六十一號公布以前ヨリ引續ノ營業者及ヒ

右酒造場ニ於テ引續明治何年度酒造營業仕度候間御免許被下度鑑札相添ヘ此段相願候

也

國郡區町村番地(寄留)

(原籍府縣國郡區町村番地)

酒造營業人

何

某印

區戶長與印ハ例規ノ通

府知事 何 某 殿
縣令 何 某 殿

年 月 日

(第三號雜形)

酒造見込種目并石數御届

國郡區町村番地

酒

造

場

免許鑑札番號

一 清酒何千何百何拾何石

白米何千何百石

一 燒酎何拾何個

一 燒酎何百何拾何石

酒粕何拾何万貫匁

腐敗酒何拾何石

一 酒精何拾何石

酒粕何拾何萬貫匁

但幾仕舞ノ見込

但一ト酛(蒸米何斗麴米何斗)

但幾釜蒸溜ノ見込

但全上

燒酎何拾何石

一味淋何百何拾何石

白米何百何拾石

燒酎何百何拾石

一保命酒何拾石

味淋何石

燒酎何石

地黃何百匁

桂枝何百匁

忍冬何百匁

但幾仕込ノ見込

但全上

右、明治何年度造酒見込種目及石數前書之通ニ有之候尤以後増減有之節ハ其時々御届可仕候也

以下第二號書式ニ準スヘ

濁酒ハ清酒ニ白酒ハ味淋ニ銘酒類ハ保命酒ニ倣ヒ記載スヘ

(第四號雜形)

酒類釀造方法書

國郡區町村番地

酒造場

免許鑑札番號

何配一個釀造法

一蒸米何斗

一麴米何斗何升

一水何斗何升

此見込配何石何斗

清酒一仕舞釀造法

配米何斗 内(蒸米何斗麴米何斗)但一個何分何厘使用

此仕込水何斗

初添米何石何斗 内(蒸米何石麴米何斗)

此仕込水何石何斗

中添米何石何斗 内(蒸米何石麴米何斗)

此仕込水何石何斗

留米何石何斗 内(蒸米何石麴米何斗)

此仕込水何石何斗

合白米何石何斗 但白米一石ニ付仕込水平均何石何斗

此仕込水何石何斗 但白米ヨリ何割何分ノ見込

此見込清酒何石何斗 但醪ヨリ何割何分ノ見込

燒酎一仕釜蒸酒法

第十一類

元粕何拾貫匁 但粕拾貫匁ニ付何升取ノ見込

此見込焼酎何斗

元腐敗清酒何石 但元壹石ニ付何斗取ノ見込

此見込焼酎何斗

味淋一ト仕込製造法

元焼酎何石

掛米何石何斗 内(蒸米何石麴米何斗) 但何味造即チ(白米一石ニ付焼酎何石)

此見込醪何石何斗 但白米ヨリ何割何分ノ見込

此見込味淋何石何斗 但醪ヨリ何割何分ノ見込

保命酒一ト仕込製造法

元 焼酎何石
味淋何石

加味 地黃何百匁
桂枝何百匁
忍冬何百匁

此見込醪何石 但元酒ヨリ何割何分ノ見込

此見込保命酒何石 但醪ヨリ何割何分ノ見込

右、明治何年度酒類醸造方法前書之通ニ有之候尤以後變更候節、其時々御届可仕候也

以下第二號書式ニ準スヘシ

一濁酒ハ清酒ニ酒精ハ焼酎ニ白酒ハ味淋ニ銘酒類ハ保命酒ニ倣ヒ記載スヘシ

一 新酒寒酒ノ類コシテ米水ノ割合等其醸造法異ナルモノハ特ニ別記スヘシ

一 醪ハ焼酎ヲ混和シテ搾ケ揚グルモノハ一種ノ醸造法トシテ方法書中ニ記載スヘシ

一 醸造方法變更届書ハ前文例ニ準據スヘシ

(第五號雛形)

酒造場建物并諸器械調書

國郡區町村番地

酒 造 場

免許鑑札番號

一酒造場建物

内

酒造ニ屬スル分

一倉庫(何間何間)何坪

但二階(何間何間)何坪穴藏(何間何間)何坪

一全 (何間何間)何坪

但掛出(何間何間)何坪麴室(何間何間)何坪

一穀藏(何間何間)何坪

一納屋(何間何間)何坪

一何々(何間何間)何坪

一何々(何間何間)何坪

酒造ニ屬セサル分

- 一 居宅(何間何間)何坪
- 一 倉庫(何間何間)何坪
- 一 納屋(何間何間)何坪
- 一 桶鑿并水桶米浸桶粕桶(第何號ヨリ第何號マテ)何個

内欠號何個

第何號 第何號 第何號

- 一 酒槽 (第何號ヨリ第何號マテ)

内借入

- 一 層枰
- 一 男柱 (第何號ヨリ第何號マテ)
- 一 締メ木
- 一 掛ケ袋
- 一 垂レ甕
- 一 蒸溜器(第何號ヨリ第何號マテ)
- 一 礎
- 一 甑 但何石何斗入
- 一 蒸釜 但何石何斗入

何 何 幾 幾 何 何 何 何 何 何 何
 個 個 組 組 個 個 本 本 個 個 個

- 一 半切桶
 - 一 試シ桶
 - 一 暖氣樽
 - 一 桃桶
 - 一 擔桶
 - 一 柄杓 但何升何合何勺入
 - 一 水通ヒ樽 但何斗何升入
 - 一 水汲桶 但何升何合何勺入
 - 一 麴板
 - 一 糶
- 右酒造場建物及諸器械即今所持ノ分前記ノ通相違無之候尤以後増減有之節ハ其時々御届可仕候也
- 以下第二號雜形ニ準スヘシ

何 何 何 何 何 何 何 何 何 何
 個 個 個 個 個 個 個 個 個 個

- 一 酒造用諸器械ハ使用ト否トヲ問ハス苟モ酒造場内ニ現在シ使用シ得ヘキモノハ無
 - 一 居宅其他ノ建物中ニ酒類及諸器械ヲ入置クモノハ酒造ニ屬スル部分ニ記載スヘシ
- (第六號雜形)

造酒見込石數増(減)御届

國郡區町村番地

酒造場

何年月日御届高

免許鑑札番號

一 清酒何百何拾何石

白米何拾何石

配 何拾何個

一 清酒何拾何石

白米何拾何石

配 何拾何個

合計

清酒何百何拾石

白米何百何拾石

配 何拾何個

(減造届ハ左ノ如ク記載スヘ)

一 清酒何百何拾石 何年月日御届高

白米何百何拾石

配 何拾何個

内

清酒何拾何石

(今度減造ノ分何石仕舞何個ノ見込)

白米何拾何石

配 何拾何個

差引

清酒何百何拾石

白米何百何拾石

配 何拾何個

右ハ明治何年度造酒見込石數前書ノ通増(減)仕候此段御届仕候也

以下第二號雛形ニ準スヘ

。都テ酒類ノ増減ハ右ニ準據スヘ

(第七號雛形)

配醪仕込桶遣ヒ順序調書

國郡區町村番地

酒造場

免許鑑札番號

配取半切桶遣法

最 初 半切何枚ニ分配

二 次 半切何枚ニ合縮

三 次 半切何枚ニ合縮

四 次 半切何枚ニ合縮

第十一類

五次 坪臺桶一個ニ入

醴仕込桶遣法

初添 三尺桶何本

中添 全何本

留 仕込桶何本

最後 三尺桶何本

仕込桶何本

○之レハ口打トナリシ場合ト心得ヘシ

第何號桶

仕込順號 第一號 第六號 第拾一號

第何號桶

全 第二號 第七號 第拾二號

第何號桶

全 第三號 第八號

第何號桶

全 第四號 第九號

第何號桶

全 第五號 第拾號

右ハ明治何年度配醸仕込桶遣ヒ順序前書ノ通ニ有之候尤増減並變更等有之節ハ其時々

御届可仕候也

國郡區町村番地

酒造營業人

何

某印

年 月 日

府 酒造檢査員御中

。清酒外酒類モ之レニ準據スヘシ

(第八號雛形)

酒造桶鑿容量御檢査願

國郡區町村番地

酒

造

場

免許鑑札番號

第何號

一桶

但新調(買入)(醸受)(修繕)

口徑 何尺何寸何分

胴徑 何尺何寸何分

底徑 何尺何寸何分

深サ 何尺何寸何分

此石數何拾何石何斗何升何合

第十一類

第何號

但買入(借入)

此石數何石何斗何合 (但水量試)

右容量御檢査被下度此段相願候也

以下第七號離形ニ準スヘ

新調買入等ノ番號ハ在來桶甕ノ順號ヲ透ヒ起號スヘ若シ順號中欠號アルトキハ其次番ヲ填補スヘ

(第九號離形)

造酒(搾リ蒸溜)器械封緘御請書

造酒器械ノ内左ノ品々へ御封印相請候ニ付該器械使用又ハ洗滌修繕等ノ節ハ其旨申立御解封可願上尤御解封ノ上ハ左ニ掲クル日數中ニ必ス使用又ハ洗滌修繕等ヲ了リ御再封相請可申候仍テ御封緘并御解封ノ都度其年月日使用又ハ洗滌修繕日數ヲ左ニ掲記シ御請印仕候也

國郡區町村番地

酒造營業人

何

某印

年 月 日

府知事 縣令 何某殿

國郡區町村番地

免許鑑札番號

酒 造 場

番號	器械全品目	御封印所	御封印年月日	御開封上願ノ事由	御開封年月日
何號	酒槽	一ヶ所	明治何年何月何日	洗滌	明治何年何月何日
何號	男柱	一ヶ所	明治何年何月何日	修繕	明治何年何月何日
何號	兜釜	一ヶ所	明治何年何月何日	使用	明治何年何月何日
何號	酒槽	一ヶ所	明治何年何月何日	全	明治何年何月何日
		ヶ所	明治 年 月 日		明治 年 月 日
		ヶ所	明治 年 月 日		明治 年 月 日
		ヶ所	明治 年 月 日		明治 年 月 日

朱書ノ通其時々記入①印ノ處へ検査員②印ノ處へ營業人捺印スルモノトス
第十號雛形)

醱(醪)御検査願

國郡區町村番地

酒造場

免許鑑札番號

第何號ヨリ

何個

但何月何日ヨリ何月何日迄醱立ノ分來ル何日頃熟成ノ見込

一 醱 第何號ヨリ 幾仕舞

但何月何日ヨリ何月何日迄仕舞ノ分來ル何日頃熟成ノ見込

右御検査被下度相願候也

清酒御検査願

第何號桶

一 清酒何拾何石

但桶側面記載ノ通

第何號桶

一 全 何拾石何斗

但全上

第何號桶

一 全 何石何斗何升何合

但入實深何尺何寸何分

合何拾何石何斗何升何合

右ハ第何號ヨリ第何號迄搾リ揚ケノ分御検査被下度相願候也

燒酎御検査願

第何號桶

一 燒酎何石何斗何合

但入實深何尺何分

(内何石 何酒元ニ御検査ヲ請フ)

右ハ何月何日ヨリ何月何日迄都合幾釜蒸溜ノ分御検査被下度相願候也

國郡區町村番地

酒造營業人

何 某印

年 月 日

府 縣 酒造検査員御中

何酒皆造御検査願

國郡區町村番地

酒造場

免許鑑札番號

一 何酒 何程

一 全 何程

合 何程

内 何程

差引 何程

何年何月日見込御届高
何年何月日増石御届高

何年何月日減造御届高

更 定 高

此 白米 何程
 一何酒 何程
 一何酒 何程
 御検査濟石高
 今度御検査受シヘキ分

内
 第何號桶
 何酒何程
 第何號桶
 全 何程
 合 何酒何程
 但桶側面記載ノ通
 但入實深何尺何寸何分

内
 何程
 外何程 若シ減セシトキハ
 外書ニ記スヘシ
 一何酒 製造檢査ノ際
 見込石數ニ増
 見込石數ニ減
 何月何日現在高

内
 何程
 自家製造
 古酒
 新酒

何程 買入高

右ハ明治何年度一期造酒石高書面ノ通相違無之候也

國郡區町村番地
 酒造營業人

年 月 日

府 縣
 酒造檢査員御中

何 某印

(第十一號雛形)

表

明治何年何月
酒造米元帳

横帳ニ調製スヘシ
 以下之レニ倣フ

裏

國郡區町村番地
何 某
免許鑑札番號

酒造場ト居住地ト番號異
 ナルモノハ併記スヘシ
 以下之レニ倣フ

凡 例

一此帳簿ニハ酒造米渡ト雇入飯米渡トハ口分ケヲナシ各別ニ記入スヘシ
 第十一類
 八二

（第十二號雛形）

表	、、、、	仕 込 帳	、、、、	裏
---	------	-------------	------	---

凡例

此帳簿ニハ 酛取ト 醪仕込ト 各別ニ 記入スヘシ
 一 酛取及 醪仕込トモ 醸造法同一ナルモノハ 一々 蒸麴水等 記載ニ 及ハスト 雖モ 順號月日
 ハ 勿論一ト 仕舞ノ 計ニハ 必ス 石數ヲ 記載スヘシ
 一 清酒外ノ 酒類ヲ 醸造スルモノハ 別ニ 口分ケヲ 設ケ 記載スヘシ

酛取ノ部

第一號	月	日	水 酛
蒸米			何程
麴米			何程
汲水	月	日	生 酛
第二號	月	日	
第四號	月	日	

（醸造法同一ノモノハ 一々 記スルニ 及ハス）

全上	月	日	全
第五號	月	日	
第七號	月	日	
全上			
小計			何程
蒸米			何程
麴米			何程
汲水			何程
通計			
蒸米			何程
麴米			何程
汲水			何程
以下之レニ 倣フ	月	日	
仕込ノ部			
第一號	月	日	何程
蒸米			何程

○ 酛立ノ月日

第十一類

第二號

蒸米	計	汲水	留麴米	蒸米	中麴米	汲水	蒸米	添麴米	汲水	蒸米	添麴米	汲水	蒸米	計	蒸米	留麴米	汲水

第十一類

何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程

第二號一個
第三號五分

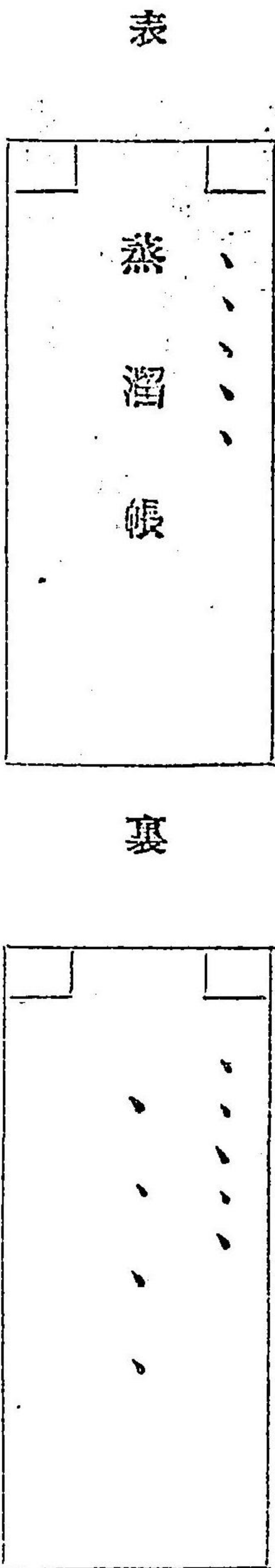
汲水	麴米	蒸米	計	汲水	留麴米	蒸米	中麴米	汲水	蒸米	添麴米	汲水	蒸米	添麴米	汲水	蒸米	計	蒸米	留麴米	汲水

何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程 何程

(第一號一個)

麵米	何程	
汲水	何程	
第三號		第三號五分 第四號一個
既全上		月 日
添全上		月 日
中全上		月 日
留全上		月 日
計		
蒸米	何程	
麵米	何程	
汲水	何程	
以下之ニ倣フ		

(第十三號雛形)



凡例

一此帳簿ニハ毎日蒸溜セシ元粕ノ貫數及蒸溜器械ノ番號蒸溜セシ總釜數ヲ記載シ便宜之レニ小計通計ヲ付記スヘシ

蒸溜帳

一元粕何程	月 日	第何號ヨリ 第何號マテ	幾釜
一元粕何程	月 日	第何號ヨリ 第何號マテ	幾釜
一元何酒何程	月 日	第何號ヨリ 第何號マテ	幾釜
小計			
元粕何程			
元何酒何程			

何町村戸長

何

某印

山梨縣知事宛

標札雛形

竪一尺五寸

<p>明治何年度 (朱書)</p> <p>第何號 (番號ハ鑑札 ノ號ヲ附ス)</p> <p>自家用料何々製造 (濁酒 何々)</p> <p>何郡何町村何番戸</p> <p>何 某</p>

〔六〕 醬油製造營業手續

○縣令第四拾五號 明治廿一年 八月廿九日

醬油稅則改正ニ付醬油製造營業手續左ノ通り相定メ來ル九月一日ヨリ施行ス

但明治十八年^大甲第五拾貳號布達ハ本文施行ノ日ヨリ廢止ス

醬油製造營業手續

第壹項 醬油製造營業願ハ第壹號書式ニ倣ヒ郡役所ヲ經テ縣廳ニ差出スヘシ

但製造場ト住所ト異ナルモノハ其製造場所在ノ郡役所ヲ經由スヘシ

第貳項 細則第一條但書ノ附屬ト爲スヘキ建物ハ租稅檢査員派出所ヘ申出テ認定書ヲ

受ケ之ヲ添付第貳號書式ニ倣ヒ願書ヲ差出スヘシ

第三項 細則第三條及第五條ノ屆書ハ第三號第四號書式ニ倣フヘシ

但細則第五條屆出ノ見込石數并製造方法ニ増減變換ヲ生シタル場合ハ本項ニ準シ

其時々屆出ツヘシ

第四項 細則第五條ノ屆出ヲ爲シタルトキハ左ノ雛形ニ倣ヒ標札ヲ調製シ製造場毎ニ

戸外ヘ掲出スヘシ

但見込石數ヲ増減シタルトキハ其都度紙札ヲ以テ更正スヘシ

鑑札番 查定ヲ受クヘキ見込石數 製造場ト住所ト異ナルトキノ例

第何號	製造場
一 醬油何程	郡町村番地
	郡町村番地
	何之誰

寸法 竪三尺
巾八寸

第五項 細則第八條第貳項容器ノ檢査願ハ新調修繕等ヲ問ハス總テ第五號書式ニ倣フ

第六項 容器ノ番號ハ製造場毎ニ起號シ其總數ニ就キ順次ヲ定ムヘシ
但醬油ヲ容レサル粕并鹽水桶等ノ類ハ丈量ヲ要セサルモ本項ノ番號ニ編入烙印ヲ受クヘシ

第七項 前項ノ容器ハ其容量若シハ用途等ヲ木札ヘ記入烙印スヘキニ付豎七寸巾八寸ノ木札ヲ調製シ置クヘシ

但木札ハ容器ノ前面ヘ掲ケ置クヘシ

第八項 細則第三條ニ據リ届出タル諸器械ハ總テ烙印ヲ受クヘシ

第九項 容器并諸器械ヲ賣渡讓渡貸渡又ハ返却スルトキ其同業者ニ係ルモノハ第五號書式ニ準シ双方連署ノ書面ヲ以テ届出タル後之ヲ授受シ其非營業者ニ係ルカ又ハ破壊ニ屬スルモノハ其時々届出テ烙印ノ削除ヲ受クヘシ

第十項 醬油ヲ仕込タルトキハ該仕込ノ終リタル日ヨリ十日以内ニ第六號書式ニ倣ヒ届出ツヘシ

第十壹項 前項仕込ヲ終リタルトキハ左ノ雛形ニ倣ヒ木札ヲ調製シ之ヲ該容器ノ前面ヘ釘付シ置クヘシ

明治何年何月何日仕舞
第何號仕込 第何號桶

寸法 豎七寸
巾二寸五分

第十貳項 諸味ハ一ト仕込毎ニ分界ヲ立テ置キ石數ノ査定ヲ受クヘシ若シ都合ニ依リ數仕込ヲ合併セントスルトキハ其旨申立テ指揮ヲ受クヘシ

第十參項 稅則第五條第六條ノ造石數査定願ハ第七號書式ニ倣フヘシ

第十肆項 溜ハ製成着手五日以前第七號書式ニ準シ申出テ諸味石數ノ調査ヲ受クヘシ

第十伍項 造石數ノ査定ヲ了シタル醬油ハ檢票ヲ下附スヘキニ付之ヲ該容器ノ前面ヘ貼付シ置クヘシ

第十陸項 査定未濟ノ醬油ヲ買入レタルトキハ該仕込ノ原品ヲ仕込帳ニ記入シ自家仕込ノ番號ニ編入スヘシ

第十柒項 製成醬油ノ買入石數ハ賣上帳ヘ細則第七條ニ據リ記入シ置クヘシ尙ホ仕切書送狀ヲ取リ置キ其買入ヲ証明スヘシ

第十捌項 稅則第九條製造場ニ關スル事故ニ因リ造石査定未濟ノ醬油ヲ一時其場外ニ移スヘキトキハ其旨申出テ承認ヲ受クヘシ

第十玖項 細則第十條第六條ノ帳簿ハ第八號乃至第十壹號ノ書式ニ據リ調製記載スヘシ

第二十項 稅則第十條條但書ニ據リ後見人ヲ立ルカ又ハ細則第六條ニ據リ代人ヲ置クトキハ其旨届出ツヘシ

但代人ヲ置クトキハ委任狀寫ヲ添付スヘシ

第二十壹項 細則第十條條條ニ據リ鑑札ノ再渡書換又ハ第十貳條ノ添書等ノ願ハ郡役所ヲ經テ縣廳ニ差出スヘシ

第貳拾貳項 造石検査済及容量調査簿へハ受印ヲ捺スヘシ
 第貳拾三項 廢業ノ節ハ届出ノ上器械烙印ノ削除ヲ受クヘシ
 第貳拾四項 臨檢日誌ハ豫テ下附シ臨檢ノ都度其事由ヲ記載スルヲ以テ之ヲ保存シ置クヘシ
 第貳拾五項 醬油製造營業ニ關スル諸願届等ハ第壹項第貳項第貳拾壹項ノ外ハ惣テ租稅檢査員派出所へ差出スヘシ
 (第壹號書式)

醬油製造營業免許願

(○印朱書)

何郡何町村番地

醬油製造場

右製造場ニ於テ醬油製造營業仕度候間免許鑑札御下附被成下度別紙圖面ヲ添へ此段相願候也

年 月 日

何縣國郡町村番地(寄留)

(原籍何府縣郡區町村番地)

何之某印

後見人(全上)之某印
 (後見人アリタルトキノ例)

山梨縣知事某殿

○凡例

一製造場所在ノ戶長ヨリ例規ノ通り與印ヲ受ケ差出スヘシ
 ○第壹號書式附屬)

醬油製造場圖面

何國何郡何町村

第何番地

倉庫何坪	諸器	械置	倉庫何坪	納屋何坪	倉庫何坪	但一階何坪	納屋何坪	穀倉何坪
庭			庭					
居宅			庭					
何坪			小賣場何坪					
何坪			庭					
何坪			麴室何坪					
何坪			倉庫何坪					
何坪			醬油藏置場					
何坪			槽場					

(太野ハ朱) 備考
 製造場ニ屬スル部分ハ朱線ヲ以テ描クヘシ

右ハ醬油製造場ニ關スル地所建物前書圖面之通相違無之候也

年 月 日

何

某印

。(第貳號書式)

醬油製造場附屬建物認可願

何郡何町村番地

免許鑑札番號

醬油製造場

一建物幾棟

何郡何町村番地

內

一倉庫 (縱何間横何間)

何坪

但二階 (何間何間)

何坪掛出(何間何間)何坪

一納屋 (縱何間横何間)

何坪

右ハ今般製造場附屬ニ致度候間御認可被下度此段相願候也

。(以下第壹號書式ニ倣フヘシ)

。(第三號書式)

醬油製造場建物并諸器械調

何郡何町村番地

免許鑑札番號

醬油製造場

一醬油製造場建物

何棟

內

醬油製造場ニ屬スル分

何棟

一倉庫 (縱何間横何間)

何坪

但二階 (何間何間)

何坪掛出(何間何間)何坪

一全上 (縱何間横何間)

何坪

但穴藏 (何間何間)

何坪麴室(何間何間)何坪

一穀藏 (縱何間横何間)

何坪

一納屋

醬油製造場ニ屬セサル分

內

一居室

但二階 (何間何間)

何坪掛出(何間何間)何坪

一倉庫 (縱何間横何間)

何坪

一納屋 (縱何間横何間)

何坪

一何々 (縱何間横何間)

何坪

一桶糞類 (第何號ヨリ第何號マテ)何個

內

借入

何個

但第何號 第何號

第 十 一 類

- 一 醬油槽 (第何號第何號) 何個
- 一 男柱 (第何號第何號) 何本
- 一 締ノ木 何個
- 一 層 粹 何個
- 一 掛 袋 何枚
- 一 垂口(桶甕) 何個
- 一 靴 何個
- 一 蒸 釜 何個
- 一 試シ桶 何個
- 一 煎 釜 何個
- 一 桃 桶 何個
- 一 柄 杓 何個
- 一 麴 板 何枚
- 一 櫃 何個
- 一 礮 何組
- 一 掛 石 何個
- 一 龍頭繩 何個
- 一 何々 何個

右醬油製造場建物及諸器械即今所持ノ分前記ノ通相違無之候尤以后増減有之節ハ其時々御届可仕候也

何郡何町村番地(寄留)
 (原籍何府縣郡區町村番地)

年 月 日

何 之 某 印

第何區租稅檢査員派出所御中

凡 例

- 一 醬油製造用諸器械ニシテ其製造場ニ現在シ使用シ得ヘキモノハ無洩記入スヘシ
- 一 居宅其他ノ建物中ニ醬油及諸器械等ヲ入置シモノハ製造ニ屬スル部分ヘ記入スヘシ
- 一 製造場附屬トナシタル建物ハ認可ヲ受ケタル節ハ此書式ニ準シ調製速ニ届出ヘシ (第四號書式)

醬油見込石數(増)(減)并製造方法(變更)御届
 免許鑑札番號 何郡何町村番地

醬油製造場

一 醬油何程

查定ヲ受クヘキ見込(増)(減)石高

此原質品

大豆 何程

第十一類

小麥 何程
 何々 何程
 食鹽 何程
 汲水 何程

此 容器

第何號桶 明治何年何月何日仕込
 第何號桶 同 何年何月何日仕込
 第何號桶 同 何年何月何日仕込

仕込見込(増)(減)石高

一醬油何程

此仕込數何個

此原質品

大豆 何程
 小麥 何程
 何々 何程
 食鹽 何程
 汲水 何程

右一仕込製造方法

自第何號 至第何號(或ハ)第何號第何號

一大豆 何程
 一小麥 何程
 一何々 何程
 一食鹽 何程
 一汲水 何程

右ハ明治何年醬油查定ヲ受クヘキ見込石及ヒ仕込見込石數并製造方法前書之通りニ有之候尤モ以后増減變更之節ハ其時々御届可仕候也

(以下第三號書式ニ倣フヘシ)

凡 例

- 一查定ヲ受クヘキ見込石數及ヒ仕込見込石數増減并ニ方法變更ノ文例ハ左ノ如シ
- 右ハ明治何年醬油查定ヲ受クヘキ見込石數(仕込見込石數)(仕入製造方法)前書之通(増)(減)(變更)仕候間此段及御届候也
- 一仕込ノ原品ニ使用スルモノハ何種類ヲ問ハス總テ記載スヘシ
- 一仕込製造方法ノ異ナル毎ニ別項ニ記載スヘシ

(第五號書式)

醬油容器御検査願

何郡何町村番地

醬油製造場

免許鑑札番號

第何號

一桶

但新調(買入)(讓受)(修繕)

口徑何尺何寸何分

胴徑何尺何寸何分

底徑何尺何寸

深サ何尺何寸

此右數何拾何石何斗何升何合

第何號

一甕

但買入(讓受)(借受)

此右數何石何斗何升何合

(但水量試シ)

右容量御検査被下度此段相應候也

以下第三號書式ニ倣フヘシ

凡例

○新調買入等ノ容器番號ハ在來容器ノ順號ヲ逐フヘシ

○但欠號アルトキハ之ヲ補填スルモ妨ケナシ

○賣渡讓渡貸渡返却等ノ節ハ表題(御検査願)トアルヲ(賣渡)(讓渡)(貸渡)(返却)御

届ト記載シ末文ヲ左ノ如ク認ムヘシ

○右ノ通り今般(賣渡)(讓渡)(貸渡)(返却)仕候間此段及御届候也

○非營業者ニ賣渡スカ又ハ破壊スルトキモ此例ニ準シ調製スヘシ

(第六號書式)

醬油仕込御届

第何號桶入

一第何號仕込

第何號桶入

一第何號仕込

第何號桶入

一第何號仕込

右之通今般仕込濟相成候間此段及御届候也

以下第三號書式ニ倣フヘシ

(第七號書式)

醬油石數御查定願

何郡何町村番地

醬油製造場

何年何號仕込

第何號桶

但桶側面記載ノ通

一醬油何拾何石何斗
何年何號仕込
第何號桶

但入實深何尺何寸

一全 何石何斗何升
合何拾何石何斗何升

右御査定被下度相願候也

(第八號書式)

(以下第三號書式ニ倣フヘシ)

明治何年何月

醬油製造原品買入帳

製造場ト居住地トヲ異ニスルモノハ
之ヲ併記スヘシ以下之ニ倣フ

免許鑑札番號 何郡何町村番地 某

凡例

一醬油製造ノ原品ニ用ユル爲メ買入タルモノハ其何種類ヲ問ハス都テ遺漏ナク記載スヘシ

一 小作及自作ヲタルモ此例ニ據リ記入スヘシ

一 毎年十二月末日ニ至リ殘品アルトキハ翌年一月一日ノ越高ト爲スヘシ

○ 但本年ニ限り八月三十一日ヨリ九月一日ニ持越シタルモノヲ越高ニ記載スヘシ

○ 一此帳簿ニ餘白アルトキハ數年間用ユルモ妨ケナシト雖モ年度ノ異ナル毎ニ票紙ヲ以テ口譯ヲ爲スヘシ

買入月日種	目	石	數	俵	數	代	價	賣主住所	賣主姓名
越	高大豆	何	石	何	斗	何	俵		
全	小麥								
全	何々								
全	食鹽								
計		何	拾	何	石	何	拾	俵	
何月何日大	豆	何	石	何	斗	何	俵	何	圓
何月何日小	麥							何郡何町	何之某
何月何日何々									

(第拾號書式)

明治何年何月

醬油仕込帳

何郡何町村番地

免許鑑札番號 何之某

凡例

- 一ト仕込ノ全ク了リタル日ヲ以テ其使用セシ原品ヲ記入スヘシ
- 一仕込番號ハ仕込ノ順序ニ從ヒ毎年新シニ起號スヘシ
- 一此帳簿餘白ノアリタルトキハ數年間用ユルコトヲ得ルモ年度ノ異ナル毎ニ票紙ヲ付シテ區分スヘシ

仕込順號	桶號	種目	石	數	仕込始月日
第何號	第何號	大豆	何石	何斗	全終月日
		小麥			調查區分
		何々			仕込調查
		何々			熟成調查
		何々			

(第十一號書式)

明治何年何月

醬油賣上帳

何郡何町村番地

免許鑑札番號 何之某

仕込順號	桶號	種目	石	數	仕込始月日
第何號	第何號	大豆	何石	何斗	全終月日
		小麥			調查區分
		何々			仕込調查
		何々			熟成調查
		食鹽			查定石數
		汲水			

凡例

- 一帳中ニ票紙ヲ以テ受拂ヲ區分シ各項ノ書式ニ據リ買入并ニ搾揚ケ賣渡ノ都度該石數ヲ遺漏ナシ記入スヘシ
- 一醬油ヲ賣渡セシモ仕切未済ニシテ價格ノ確定セサルモノハ代金ノ記入ヲ要セス
- 一卸賣及小賣ハ口譯ヲ爲シ記入スヘシ
- 但自家用料ノ石數ハ小賣ノ口譯ニ合記スヘシ
- 一此帳簿ニ餘白アルトキハ數年間用ユルモ妨ケナシト雖モ年度ノ異ナル毎ニ票紙ヲ以テ口譯ヲ爲スヘシ
- 一毎年十二月末日ノ賣捌殘餘ハ翌年一月一日ノ越高トシテ元受ノ部ニ記載スヘシ

受ノ部

受入月日	石	數	樽	數	事	由
何月何月	何石	何斗	何	樽	何縣何郡何町村何ノ某ヨリ買入	
何月何日	何石	何斗			搾リ揚ケ高	
全日	何石		何	樽	何縣何郡何町村何ノ某ヨリ辰高	

月計
通計

○毎月末ニ此ノ計ヲ付シニケ月目ヨリ
累算シテ通計ヲ付スヘシ

賣渡ノ部

賣渡月日	石	數	樽	數	代	金	買主住所姓名
何月何日	何石	何斗	何個	何個	何圓何錢		何郡何町村何ノ某
全日	何石		何個	何個	何圓何拾錢		全 上何ノ某
何月何日	何石	何斗			何圓何錢		店 小賣
全日	何斗	何升					自家用料

月計
。每月末ニ此計ヲ付シニケ月目
通計
ヨリ累算シテ通計ヲ付スヘシ

七 菓子稅施行方

○縣令第三十五號 明治廿一年
五月廿六日

菓子稅則中改正セラレシニ依リ右施行方左ノ通相定ム

但明治廿年^九縣令第七拾四號菓子稅施行細則ハ本文施行ノ日ヨリ廢止ス

菓子稅施行法

- 第一條 營業免許鑑札ハ第一號書式仕入出賣鑑札ハ第貳號書式ニ倣ヒ願出ヘシ
但露店呼賣營業人ハ出賣鑑札ヲ受クルニ及ハス
- 第二條 他管下又ハ他郡ニ移轉スルトキハ鑑札ヲ添ヘ移轉管廳ヘノ添翰ヲ願受クヘシ
- 第三條 營業人ハ第三號雛形ニ倣ヒ標札ヲ調製シ營業場戶外ニ掲クヘシ
- 第四條 營業人廢業セントスルニ際シ殘菓子アルトキハ其處分方ハ所轄郡長ノ承認ヲ受クヘシ
- 第五條 稅則第十二條一月一日七月一日現在ノ雇人員數氏名^{雇人ナキモ}ハ其旨 及其後ノ異動
ハ第四號書式ニ倣ヒ届出ヘシ
- 第六條 稅則第十三條ノ製造高及賣上金高ハ第五號書式ニ倣ヒ届出ヘシ

第七條 製造人ハ左ノ帳簿ヲ調製スヘシ
菓子製造帳

本簿ハ第六號書式ニ倣ヒ製造ノ時ニ其種類數量及見積代金年月日等ヲ記載ス
ヘシ

菓子賣上帳

本簿ハ第七號書式ニ倣ヒ自店ニ於テ賣捌ケル卸小賣ノ日締金高年月日及出賣
先ニ於テ賣捌キケル金高ヲ記載スヘシ

第八條 製造人其製造菓子ヲ再製又ハ變製スルカ若クハ腐敗等ニテ棄却スルモノハ製
造帳中特ニ其理由ヲ付シ種類數量見積金高等ヲ記載シ置クヘシ

第九條 製造菓子ハ帳簿ニ記載前店頭ニ陳列スヘカラス

第十條 製造人廢業スルトキハ納期ニ拘ハラズ製造稅ヲ完納スヘシ
(第壹號書式)

菓子(製造)營業御免許願

(營業場ト居住地ノ異ナルトキノ例)

何國何郡何(町村)何番地

營業場 何國何郡何(町村)何番地

何

某

右私義(製造)營業仕度候間營業鑑札御下付被下度此段相願候也

小賣

右

何

某 印

年 月 日

第十一類

百十九

百十八

郡長宛

(奥書)

戸長

何

某印

(第貳號書式)

菓子(仕入出賣)鑑札御下付願

何國何郡何(町村)何番地

菓子(製造御賣小賣)營業人

何

某

右私儀(製造御賣小賣)

營業御許可相成候ニ付テハ(自己又ハ家族雇人某ヲシテ)(仕入出賣)(致爲

致)度候間右鑑札御下付被下度此段相願候也

右

年月日

郡長宛

戸長

何

某印

(第二號書式)

木製曲尺巾八寸豎一尺九寸

鑑札番號

菓子(製造御賣小賣)營業

山梨縣何郡何(町村)何番地

何

某

(第四號書式)

菓子雇人現員御届

何國何郡何(町村)何番地

菓子(製造御賣小賣)營業人

何

某

一雇人現在何人

右、明治何年何月何日現在雇人前書之通相違無之尤爾後異動又ハ増減有之候節ハ其時々御届可仕依テ別紙人名書相添此段御届仕候也

年月日

郡長宛

戸長

何

某印

記

(奥書)

何國何郡何(町村)

何

某

何國何郡何(町村)

何

某

計何人

第十一類

百廿一

百廿

右之通候也

年 月 日

菓子雇人異動御届

菓子製造
卸賣營業人
小賣

何

某印

何國何郡何(町村)何番地

菓子製造
卸賣營業人
小賣

何

某

一明治何年七月一日現在雇人何人

外 何月何日增員

何國何郡何(町村)

何

某

何月何日增員

何國何郡何(町村)

何

某

内

何月何日減員

何國何郡何(町村)

何

某

差引何人(増減)又ハ増減ナシ

右之通雇人ニ異動ヲ生シ候ニ付此段御届仕候也

年 月 日

右

何

某印

郡 長 宛

戸 長

何

某印

(奥書)

(第五號書式)

明治何年自(一月七月)至(六月十二月)菓子製造見積金高
并賣上金高御届

一金何程

製造見積金高

一金何程

賣上金高

右、明治何年自(一月七月)至(六月十二月)菓子製造見積金高并賣上金高前書之通相違
無之此段御届仕候也

何國何郡何(町村)何番地

菓子製造人

年 月 日

郡 長 宛

戸 長

何

某印

(奥書)

戸 長

何

某印

(第六號書式)

何年何月何日調製
菓子製造帳
何國何郡何(町村)何番地
菓子製造人
鑑札番號
何
某

本簿代價ヲ見積ルニ卸賣ト小賣ヲ兼ヌルモノハ總テ卸賣直段ヲ以テシ小賣ノミヲナス
 モノハ小賣直段ヲ以テスヘシ
 越高ハ一月ナレハ前年末ノ残り高七月ナレハ前月末ノ残り高ヲ掲クヘシ
 月計ハ一ケ月中ノ分ヲ計算シ通計ハ二ケ月目ヨリ毎月分ヲ通計シ六月十二月兩度ニ區
 分スルモノトス

前期ヨリ越高

一煉羊羹	何本	此見積代金何程
一金米糖	何斤	此見積代金何程
一豆板	何百枚	此見積代金何程
一大福餅	幾個	此見積代金何程
一何煎餅	何枚	此見積代金何程
計金何圓何拾錢		

(第七號書式)

何年何月何日調製
菓子賣上帳
何國何郡何(町村)何番地
菓子製造人
鑑札番號
何
某

何月何日	何本	此見積代金何程
一煉羊羹		
何月何日	何百個	此見積代金何程
一何落鴈		
何月何日	何千枚	此見積代金何程
一何煎餅		
月計見積代金何圓何錢		
通計見積代金何拾何圓何拾錢		

本簿賣上ノ金額ハ卸賣小賣及出賣ニ付シタルモノヲ區別シ記載スルモノトス
 月計及通計ノ記載方ハ製造帳ノ例ニ倣フ
 何月何日
 一卸賣金何圓何拾錢
 一小賣金何圓何拾錢

一出賣菓子賣上金何圓

メ金何圓何拾錢

何月何日

一卸賣金何圓何拾錢

一小賣金何圓何拾錢

一出賣菓子賣上金何圓

メ金何圓何拾錢

月計金何拾何圓

通計賣上金何百何拾圓

(八) 煙草稅則施行方

○縣令第三十四號 明治廿一年 五月廿六日

煙草稅則改正ヒラレンニ依リ右施行方左之通相定ム

但明治廿一年縣令第七十三號煙草稅則施行細則ハ本文施行ノ日ヨリ廢止ス

煙草稅則

第一條 煙草營業ヲ爲サントスル者ハ第一號書式ニ仕入出賣ヲナサントスルトキハ第一號書式ニ依ヒ所轄郡役所ニ願出ツヘシ

第二條 煙草稅則施行細則第一條ニ據リ煙草製造人并煙草仲買人ノ免許願書ニ添付スヘキ地所建物ノ圖面ハ第三號書式ニ倣フヘシ

第三條 煙草稅則第三條ノ証約金額ハ雇人三人刻器械三挺迄五拾圓トシ以上雇人二人刻器械二挺迄每ニ貳拾五圓ヲ加ヘ五百圓ニ至ル

第四條 前條雇人及刻器械ノ員數ニ偏數ヲ生シタルトキハ雇人一人ト刻器械一挺トノ比例ヲ以テ交互補填スルコトヲ得

第五條 煙草製造免許後雇人器械ノ員數ニ増減アリテ第三條ノ証約金額ニ異動ヲ生シタルカ又ハ保證人其資格ヲ失ヒタルトキ若クハ煙草稅則第三條ニ依リ証約金ヲ徵收セラレタルトキハ証約狀ヲ書換ヘ引換テ乞フヘシ

但証約金額ヲ減スヘキ場合ニ於テハ証約狀ヲ書換ヘサルモ妨ケナシ

第六條 煙草仲買小賣ノ免許ヲ受ケタルトキハ直ニ租稅檢査員派出所ニ届出ヘシ

第七條 煙草稅則施行細則第三條ニ據リ届出ヘキ家屋倉庫ノ圖面製造器械ノ種類箇數及雇人弟子職工ノ數ハ第四號書式ニ倣フヘシ

第八條 煙草營業免許ヲ受ケタルモノハ第五號離形ニ倣ヒ標札ヲ調製シ煙草營業場戶外ニ掲出スヘシ

第九條 製造營業ニ屬スル刻器械ニハ檢印ヲ受ケ檢査簿ニ請印ヲナスヘシ尤モ營業ニ屬セサル刻器械ハ租稅檢査員派出所ニ届出封印ヲ受クヘシ

第十條 前條檢印アル器械ヲ賣渡シ又ハ破解スルトキハ租稅檢査員派出所ニ届出檢印ノ削除ヲ乞フヘシ

第十一條 他管下又ハ他郡ニ移轉スルトキハ免許鑑札ヲ添ヘ移轉管廳ヘ添翰ヲ願受

第十二條 烟草稅則第十條ニ據リ烟草營業者ノ調製スヘキ帳簿ハ左ノ區別ニ從ヒ調製スヘシ

製造人

一 烟草製造帳

本簿ハ第六號書式ニ倣ヒ製造用ニ買入タル未製造烟草ノ種類量目及製造高賣捌高等ヲ記入スヘシ

一 未製造烟草使用帳

本簿ハ第七號書式ニ倣ヒ製造ニ付シタル未製造烟草ノ種類量目等ヲ記入スヘシ

一 印紙買入帳

本簿ハ第八號書式ニ倣ヒ烟草稅則施行細則第二十二條ニ從フヘシ

仲買人

一 烟草買入帳

本簿ハ第九號書式ニ倣ヒ未製造烟草及ヒ製造烟草ノ買入高等ヲ記入スヘシ

一 番號變換簿

本簿ハ第拾號書式ニ倣ヒ賣捌ノ都合ニ依リ最初買入タル數連又ハ數束ノ葉烟草ヲ更ニ俵拵ニナシ數番號合併若クハ分離シタルトキニ限リ記載スヘシ

一 烟草賣渡帳

本簿ハ第十一號書式ニ倣ヒ未製造烟草及製造烟草ノ賣渡高等ヲ記入スヘシ

小賣人

一 烟草買入帳

本簿ハ第九號書式烟草買入帳ノ内製造烟草ノ部記載ノ例ニ倣ヒ製造烟草ノ買入高等ヲ記入スヘシ

第十三條 外國製ノ烟草ハ前條各項ノ書式ニ準シ別ニ帳簿ヲ製シ賣買年月日種類數量

個數代金及賣買人氏名住所等ヲ詳記シ置クヘシ

第十四條 出賣ニ付シタル烟草(未製造製造共)ハ別ニ帳簿ヲ製シ年月日種類番號數量

定價個數及出賣人ノ氏名等ヲ記載シ置クヘシ

第十五條 仕入出賣ヲナス者ハ別ニ帳簿ヲ製シ其本店ヨリ受込タル烟草(未製造製造

共)ノ種類番號數量定價個數年月日及出先ニ於テ賣買ニ係ル烟草(未製造製造共)ノ

種類番號數量定價個數年月日賣買人ノ住所氏名等ヲ記載シ置時々本店へ報告又

ハ歸店ノ上本簿ニ移記ノ手續ヲナスヘシ

第十六條 烟草營業者ニシテ烟草(未製造製造共)ヲ預リタルトキハ其種類數量個數及

預ケ人ノ住所氏名并年月日ヲ詳記シ租稅檢査員派出所ニ届出其烟草ハ自家所有ノ分

ト區別ヲ明瞭ニスヘシ

但返却シタルトキモ亦届出ツヘシ

第十七條 烟草營業者ニシテ烟草ヲ質入抵當ニナシタルトキハ直ニ質取主抵當取主并

種類數量個數及其藏置場所年月日等ヲ詳記シ租稅檢査員派出所ニ届出ヘシ
但受戻シタルトキモ亦届出ヘシ

第十八條 煙草營業者事故アリテ不在中ハ相當ノ代理人ヲ定メ檢査上渾テ差支ヘナキ
樣致置クヘシ

第十九條 製造煙草ノ包裹ニ各種ノ商標彩紋裝飾ヲ加フルトキハ其見本ヲ租稅檢査員
派出所ニ届出ヘシ

第二十條 天災其他抗拒スヘカラサル事故ニ罹リ煙草營業者所持ノ煙草包裹及其貼用
印紙毀損又ハ汚染セル場合ニ於テハ租稅檢査員ニ申出其實事ノ証明ヲ受ケタルモノ
ハ特ニ該印紙ノ交換ヲ乞フコトヲ得

第二十一條 煙草營業者廢業ノ節ハ所轄郡役所ニ届出鑑札ヲ還納スヘシ
但本條ノ場合ニ於テ殘煙草ヲ所持スルモノハ租稅檢査員派出所ニ申出其處分方
檢査員ノ承認ヲ受クヘシ

第二十二條 吸烟ノ用ニ供スル煙草類(混和製ノ諸品トモ)ハ總テ稅則ニ據ルヘシ

(第壹號書式)

煙草製造仲買營業御免許願

營業場 何郡何(町村)何番地 何國何郡何(町村)何番地

某

(製造場ナレハ)

營業場

何拾坪

雇人

何人

刻器械

何挺

右私義煙草製造仲買營業仕度候間免許鑑札御下附被下度製造ナレハ(依テ別紙營業場圖而并
營業場圖)此段相願候也証約狀相添(仲買ナレハ(依テ別紙
面相添)

年 月 日

郡 長 宛

右 何 某 印

(與書)

右 戶 長 何 某 印

(第貳號書式)

煙草(仕入出賣)鑑札御下附願

何國何郡何(町村)何番地

煙草製造仲買營業人

何

某

右私義煙草製造仲買營業御許可相成候ニ付テハ(自己又ハ家族雇人何某チシテ)(仕入出賣)
(致爲致)度候間右鑑札御下附被下度此段相願候也

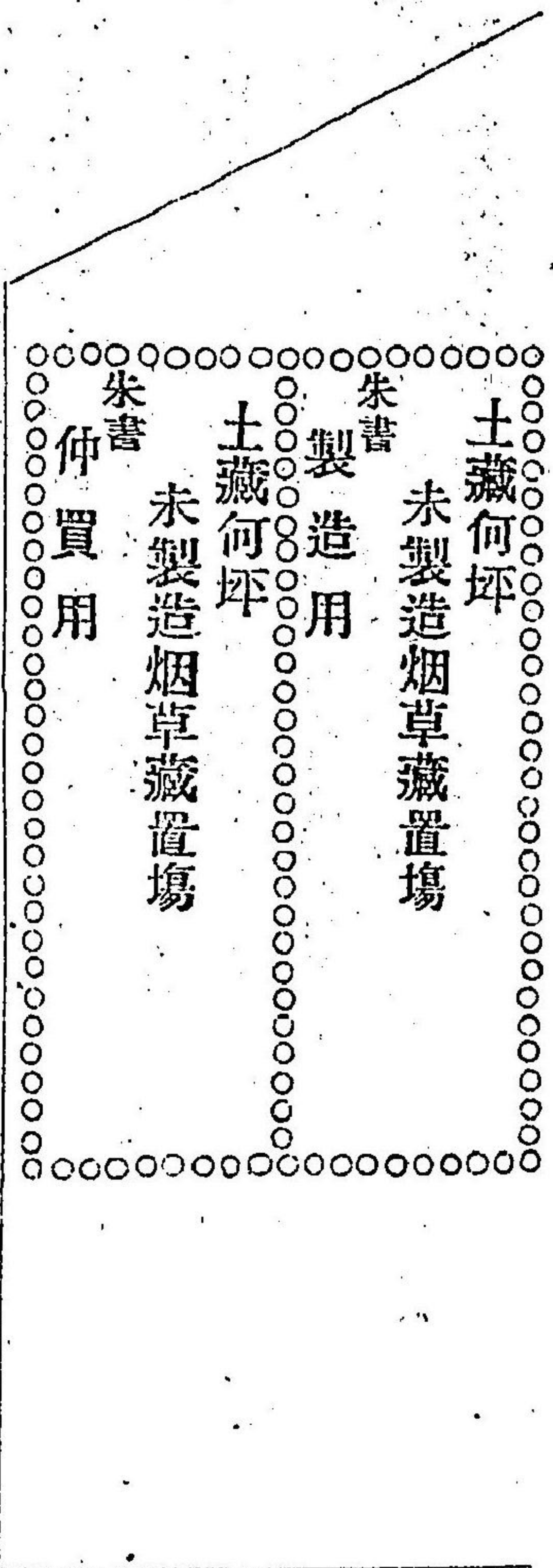
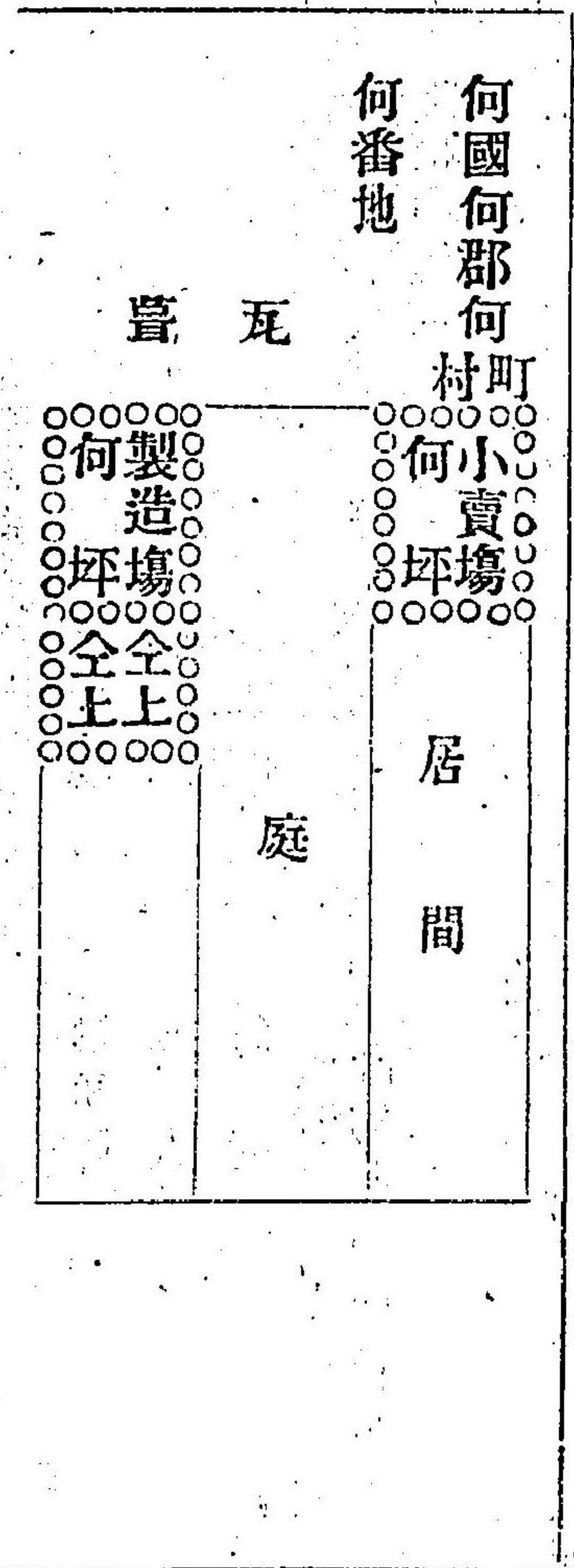
年月日 郡長宛

(奥書)

右 何 某印
右 戸長 何 某印

(第二號書式)

烟葉(製造)營業場繪圖 備考 營業ニ屬スル部分ハ 朱線ヲ以テ描クヘシ (○朱書)



右、烟草(製造仲買)營業ニ關スル地所建物前記圖面之通相違無之候
年 月 日 何 某印

(第四號書式之一)

烟草製造營業ニ關スル家屋倉庫并器械雇人等ノ員數御届

何國何郡何(町村)何番地 烟草製造人 何 某

何郡何(町村)何番地
一家屋何棟
一倉庫何棟
但別紙繪圖面ノ通

一 セン切(大中小)道具

但付屬品何々

一 センマイ(大中小)道具

但付屬品何々

一 何

(製造ニ用ユル諸器械ハ庖丁押板ニ至ルマテ總テ記載スヘシ)

一 雇 人

一 弟 子

一 職 工

何國何郡(町村)何番地
何國何郡(町村)何番地

何 何

某某某某某

何

個

何

個

何

個

右ハ烟草製造營業ニ關スル建物及諸器械并雇人弟子職工前記之通ニ有之候尤モ以後増減變更有之候節ハ其時々御届可仕候也

年 月 日

山梨縣第何區租稅檢査員御中

何

某 印

(第四號書式ノ二)

烟草製造場繪圖

何郡何(町村)何番地
一 製造營業場

何拾何坪

(繪圖面記載方ハ第三號書式ニ倣フ)

右ハ烟草製造營業ニ關スル家屋倉庫前記圖面之通相違無之候

烟草製造人

年 月 月

何

某 印

(第五號雛形)

豎二尺九寸

第何號	第何號	第何號
烟草製造營業	烟草製造營業	烟草製造營業
何國何郡何(町村)何番地	何國何郡何(町村)何番地	何國何郡何(町村)何番地

(兼業之者ハ鑑札番號業名ヲ式ノ如ク記載スヘシ)

何年何月何日調製
烟草製造帳
何國何郡何(町村)何番地
烟草製造人
鑑札番號
何
某

凡例

- 一本簿ハ其都度記載シ毎月末ニ至リ月計ヲ付シニケ月目ヨリ通計ヲ付シ一年限リ區分スルモノトス
- 一毎年十二月末ニ至リ殘品アルトキハ翌年一月一日ノ越高トシテ記載スヘシ
- 一未製造烟草ハ一年限リ之ヲ付シ越高キハ其買入當時番號ヲ記載スヘシ
- 一本簿ハ各部各別ニ調製スルモ妨ケナシ
- 一定價トアルハ包價一個ニ對スル小賣定價ヲ云フ
- 以上ハ未製造烟草使用帳烟草買入帳烟草賣渡帳印紙買入帳番號變換簿ニモ適用ス
- 未製造烟草買入之部

(對紙ヲ用ユヘク以下倣之)

前年ヨリ越高

何年買入第何號

何葉何拾目何貫目

何年買入第何號

何葉何貫目

計

何拾何貫目

何年何月何日

國郡(町村)番地

仲買人何某ヨリ買入

買入第一號

何葉何貫目

一俵

全 第二號

何葉何貫目

一連

全 第三號

何葉何貫目

一束

小計

何葉何拾貫目

何葉何拾貫目

代金何拾圓

何年何月何日

國郡(町村)番地耕作人

何某ヨリ買入

買入第四號

何葉何貫目

一俵

月計

何百何拾貫目

何拾俵

代金何百圓

內

何葉何拾貫目

代金何拾圓

何葉何拾貫目

代金何拾圓

通計何百何拾貫目

代金何百圓

刻煙草製造ノ部

百廿八

通計	月計	葉組 第何組 第何號ノ内	葉組 第何組 第何號	葉組 第何組 第何號ノ内	葉組 第何組 第何號	計	計	計	計	計	計
何百何拾貫目	何百何拾貫目	製造何貫目	製造何貫目	製造何拾何貫目	製造何拾何貫目	何月何日	何拾何貫目	製造何拾何貫目	製造何拾何貫目	何拾何貫目	前年ヨリ越高
		何拾目包	何拾目包	何拾目袋	何拾目包			何拾目袋	何拾目包	何拾目包	
		何拾個定價何錢	何拾個定價何錢	何拾個定價何錢	何拾個定價何錢			何拾個定價何錢	何拾個定價何錢	何拾個定價何錢	
何百圓	何百何圓	印稅何圓	印稅何圓	印稅何圓	印稅何圓			印稅何圓	印稅何圓	印稅何拾錢	

卷煙草製造ノ部

通計	月計	葉組 第何組 第何號ノ内	葉組 第何組 第何號	葉組 第何組 第何號ノ内	葉組 第何組 第何號	計	計	計	計	計	計
何百何拾貫目	製造何百貫目	製造何拾貫目	製造何貫目	製造何拾何貫目	製造何拾何貫目	何月何日	何拾何貫目	製造何拾何貫目	製造何拾何貫目	何拾何貫目	前年ヨリ越高
		何拾步本紙包卷	何拾步本紙包卷	何拾步本紙包卷	何拾步本紙包卷			何拾步本紙包卷	何拾步本紙包卷	何拾步本紙包卷	
		何百個定價何錢	何拾個定價何錢	何拾個定價何錢	何拾個定價何錢			何拾個定價何錢	何拾個定價何錢	何拾個定價何錢	
何拾何圓	印稅何拾圓	印稅何圓	印稅何圓	印稅何拾錢	印稅何拾錢			印稅何圓	印稅何圓	印稅何拾錢	

第十一類

百廿九

何葉何貫目
何葉何貫目
何葉何貫目
何葉何貫目
何葉何貫目
何年何月何日第何號買入
何年何月何日第何號買入
何年何月何日第何號買入
何年何月何日第何號買入

何拾何貫目
何拾何貫目
何拾何貫目
何拾何貫目
何拾何貫目
內何貫目增
外何貫目減
內何拾貫目增
外何拾貫目減
內何貫目增
外何貫目減
內何拾貫目增
外何拾貫目減
內何貫目增
外何貫目減
內何拾貫目增
外何拾貫目減

(刻煙草用葉組ノ部記載ノ例ニ全シ)
(第八號書式)

何年何月何日調製
煙草印紙買入帳
何國何郡何(町村)何番地
煙草製造人
鑑札番號
何
某

前月ヨリ越高	何 錢 印 紙	何 百 何 拾 枚	印 稅 何 拾 何 圓
	何 厘 印 紙	何 百 枚	印 稅 何 何 圓

何 月 何 日	郡 村	郡村印紙賣捌人 何某印
何 錢 印 紙	何 拾 枚	印 稅 何 圓
何 厘 印 紙	何 百 枚	印 稅 何 圓
月 計		印 稅 何 拾 何 圓
內		
何 錢 印 紙	何 百 枚	印 稅 何 拾 何 圓
何 厘 印 紙	何 千 枚	印 稅 何 拾 何 圓
通 計		印 稅 何 百 圓

(第九號書式)

何年何月何日調製
煙草買入帳
何國何郡何(町村)何番地
煙草仲買人
鑑札番號
何
某

(簿拾號書式)

何年何月何日調製
 番號變換帳
 仲買人
 何
 某
 鑑札番號

記

第壹號何月何日

一何葉何貫目

外

殘何貫目第何號ノ内現存

何百目

改造ニ付減量

葉煙草ヲ賣渡スニ付荷物ニ改造ヲ要スルトキハ變換帳ニ出シ其番號ヲ賣渡帳又ハ送狀ニ記載スヘシ

但第何號(第何號ノ内何貫目)

(第拾壹號書式)

何年何月何日調製
 煙草賣渡帳
 何國何郡何(町村)何番地
 煙草仲買人
 鑑札番號
 何
 某

未製造煙草賣渡之部

何月何日	何葉何拾何貫目	國郡村	製造人何某
買入第何號	何葉何拾何貫目	何	代金何拾圓
買入第何號ヨリ第何號ニ至ル	何葉何拾貫目	何拾俵	代金何拾圓
何月何日		國郡村	仲買人何某
買入第何號	何葉何百何拾貫目	何拾俵	代金何拾圓
月計	何百何拾貫目	何百俵	代金何百圓
	內		
	何葉何拾何貫目	何拾俵	代金何拾圓

通	計	何葉何拾何貫目	何拾俵	代金何拾圓
		何千何百貫目	何百俵	代金何拾圓

製造煙草賣渡之部

(刻煙草卷煙草トモ第六號書式製造帳ノ内賣渡ノ部ニ倣ヒ記載スヘシ)

(九) 煙草作付地反別及收穫高届出方

○甲第三拾八號 明治十九年 四月廿九日

自今煙草耕作人、其作付地反別及收穫高等別紙甲乙號雛形ニ照準シ每歲作付ハ四月三十日收穫ハ十一月三十日限リ縣廳ニ届出ツヘシ

但作付反別届出ノ後天災其他ノ事故ニ由リ其反別一割以上ヲ増減シ又ハ全廢セシ場合ニ於テハ本文雛形ニ準シ其時々届出ツヘシ

右布達候事

(甲號雛形)

煙草作付御届書

何郡何村

字何

番何番

郡

村番地

(甲)一畑反別何畝何步

地主

何某

何月植付
何月採收ノ見込

此作付煙草ヨリ收穫スヘキ(乾上)葉量見込何貫何百目

但煙草種類

柳葉、丸葉、小絲

字何々

番何番(畑宅地)段別何反何畝何步ノ内

郡

村番地

(乙)一(畑宅地)段別何步

地

主

何某

何月植付
何月採收ノ見込

此作付煙草ヨリ收穫スヘキ葉量見込凡何貫何百目

但煙草種類

何々、何々、

畑或ハ宅地一筆ノ内其幾部分ニ煙草ヲ作ル者ハ右(乙)ノ例ニ倣ヒ届出ツヘシ

作人一人ニシテ數筆數ヶ所ノ地ニ煙草ヲ作ル者ハ右ノ例ニ準シテ幾筆ニテモ之ヲ一通ノ届書ニ連記差出シ無妨

右ハ明治何年(何月)煙草作付反別并ニ收穫見積リ前書之通ニ御座候此段御届申上候也

何郡何村
何番地

明治何年何月何日

右作人

姓

名印

戸長

姓

名印

縣令宛

烟草收穫乾上葉量御届書

何郡何村

字何

番何番

一畑段別何畝何步

此收穫乾葉凡ソ何貫何百目(何月採收何月乾上)

但烟草種類 柳葉、丸葉、又ハ小絲、

何郡何村

字何

番何番

一(畑宅地)段別何步

此收穫乾葉凡ソ何貫何百目(何月採收何月乾上)

但烟草種類 柳葉、又ハ丸葉、何々、

右者明治何年(何月)烟草收穫乾葉高前書之通ニ御座候此段御届申上候也

明治何年何月何日

右作人

戸長

姓

名

印

縣令宛

何郡 村番地

姓

名

印

十 烟草賃切人取締規則

○縣令第六十九號 明治廿年 九月九日

烟草賃切人取締規則左ノ通相定メ本年十月一日ヨリ施行ス

但本年ニ限リ九月末日ノ殘烟草ハ十月一日ノ越高トシ帳簿ニ記入スヘシ

烟草賃切人取締規則

第一條 烟草製造人ノ烟草ヲ賃切タル者ハ別冊雛形ニ倣ヒ烟草賃切帳ヲ調製シ烟草受

渡ヲナシタル都度記入シ製造人ノ捺印ヲ受ケ置クヘシ

第二條 烟草製造人二名以上ノ烟草ヲ賃切スルトキハ各別ニ帳簿ヲ調製スルカ若クハ

一帳内口譯ヲ爲スヘシ

第三條 賃切ヲナストキハ必ズ烟草賃切帳ヲ所持スヘシ

第四條 烟草賃切帳ハ租稅檢査員ニ於テ隨時檢査スルコトアルヘシ

第五條 烟草賃切帳ハ登記シ畢リタル日ヨリ三ケ年間保存スヘシ

第六條 烟草賃切人ハ自用者ノ烟草ヲ賃切スルヲ得ス

第七條 烟草賃切人ハ烟草製造人ノ製造場外ニ於テ烟草ヲ賃切スルコトヲ得ス

第八條 此心得書中賃切トアルハ賃錢ヲ受ケス又ハ報酬ノ爲メ製造人ノ依頼ニ應ヒ煙

草ヲ製造スルモノモ總テ包含ス

第九條 第六條第七條ニ違フ者ハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

明治何年何月何日調製

烟草賃切帳

第十一類

何郡何(町村)何番地
 煙草賃切人 何 某
 一本簿ニハ煙草受渡ノ都度必ス記入シ製造人ノ捺印ヲ受置シヘシ而シテ毎月末ニ至リ合計ヲ付シ受取高ヲ刻ミ終ラサルトキハ其殘高ヲ顯ハシ翌月受取高ノ部ニ越高トシテ記入スヘシ

何年何月何日受取高

製造人印(印)一何葉煙草何拾何貫目

内

全(印)刻煙草何十何貫目

何月何日渡

何年何月何日受取高

全(印)一何葉煙草何十何貫目

内

全(印)刻煙草何拾何貫目

何月何日渡

全(印)全

月計何百何十貫目

受 取 高

内

刻煙草何十目

渡 高

葉煙草何十目

殘 高

前月ヨリ越高

一葉煙草何十目

以下前文ノ例ニ全シ

(十一) 賣藥規則並賣藥印紙稅施行細則

○縣令第七十五號 明治廿年九月十六日

賣藥規則并賣藥印紙稅施行細則左ノ通相定メ本年十月一日ヨリ施行シ明治十六年(六月)本縣甲第三十二號布達及明治十九年(七月)甲第五十二號布達ハ全日ヨリ廢止ス但別冊書式ハ各町村戸長役場ニ配付シ置クニ付就テ見ルヘシ

賣藥規則并賣藥印紙稅施行細則

第一條 賣藥營業人ハ其郡役所ニ願出賣藥印紙買入鑑札ヲ受ケ印紙買入ヲナス毎ニ其鑑札ヲ携帶シ印紙賣捌人ニ示スヘシ但廢業又ハ販賣ヲ禁止セラレタルトキハ鑑札ヲ還納スヘシ

第二條 印紙買入鑑札ハ貸與讓與又ハ賣買ヲナスコトヲ得ス

第三條 印紙買入鑑札ヲ失却毀損若シハ代替改名轉居セントキハ其郡役所ニ届出鑑札ヲ再渡又ハ書換ヲ乞フヘシ

第四條 賣藥(營業請賣)ノ免許ヲ受ケタル者及廢業又ハ發賣禁止ヲ受ケタルモノハ其